

勤労者家庭の老親扶養に関する調査報告

昭和61年12月

労働省 婦人局

ま え が き

急速な人口の高齢化に伴い、老親扶養の問題は、重要な課題となっている。特に、都市化、核家族化の進んだ勤労者家庭においては、老親扶養機能の低下は避け難く、それを補完し、家庭機能の充実を図るための施策の必要性が強く求められている。

家庭における老親扶養機能の具体的な内容としては、高齢化により稼働能力の衰えた老親を生計の面で援助する「経済的扶養」、身体的機能の衰えた老親について身の回りの世話や介護を行う「身体的扶養」、老後の淋しさ・孤独感などを柔らげ、精神的充足をもたらす「精神的扶養」の3つの側面が考えられる。

本調査は、労働者家族福祉の観点から、勤労者家庭の職業生活と老親扶養との関係を明らかにし、その両立の円滑化を図るために必要な施策をさぐり、もって勤労者家庭の健全な家庭機能の充実と福祉の向上に資するため実施したものである。

この報告書が、関係各位の御参考になれば幸いである。

昭和61年12月

労働省 婦人局

目 次

ま え が き

I 調査の概要	1
II 調査結果の要約	3
III 調査結果	6
1 調査対象者の属性	6
(1) 年齢構成	6
(2) きょうだい構成	6
(3) 子供の状況	7
(4) 居住状況	7
① 居住地域	7
② 住宅の状況	7
(5) 妻の就業状況	8
(6) 夫の就業状況	8
2 老親との同居、別居の状況	10
(1) 老親の存命状況	10
(2) 老親の居住状況	10
(3) 老親との同・別居の状況	11
① 夫の親、妻の親との同・別居の状況	11
② 老親との同・別居の状況	12
(4) 老親との同・隣居の時期	14
(5) 夫の親との遠居の理由	15
3 老親との同・隣居と職業生活	17
(1) 老親との同・隣居と夫の転勤の関係	17
(2) 老親との同・隣居と妻の就業の関係	18
4 老親の生活費の負担	19
(1) 老親の生活費の負担状況	19

(2) 将来の老親の生活費の負担増に対する心配	21
5 老親の世話や介護	22
(1) 老親の世話や介護の状況	22
① 世話や介護の必要状況	22
② 世話や介護の担当者	22
③ 世話や介護の内容	24
(2) 同・隣居の老親の世話や介護の状況	25
① 世話や介護の必要状況	25
② 世話や介護の必要な老親と同居している場合の担当者	25
③ 老親の世話や介護で困っていること	26
④ 老親の世話や介護で望まれる家族以外の援助	27
⑤ 老親の世話や介護に対する夫の協力への満足度	29
(3) 老親の世話や介護で企業に望まれる配慮	30
(4) 寝たきりの老親の家族介護の可能性	32
6 老親との交流	33
(1) 同・隣居の老親と夕食を共にする頻度	33
(2) 近・遠居の老親との会話の頻度	33
7 自分の老後	34
(1) 自分の老後生活に対する不安	34
(2) 老後における子供との同居希望状況	35
IV 付属統計表	37
V 勤労者家庭の老親扶養に関する調査票	58

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、勤労者家庭における老親扶養についてその現状と変化の方向をさぐり、勤労者家庭における健全な家庭機能の充実と福祉の向上を図るための行政施策の検討資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲

(1) 地 域 日本国全域

(2) 対象者 次に掲げる事項に該当する者 2,000 人

イ 全国 47 都道府県の婦人少年室協助員の所属する約 400 事業所の 40 歳以上の男子労働者の妻

ロ 対象者若しくはその夫の親（同居、別居にかかわらず）のうち少なくとも 1 名以上存命であること

3 調査事項

(1) 老親との同居、別居の状況

(2) 老親の経済的扶養の状況

(3) 老親の身体的扶養の状況

(4) 老親の精神的扶養の状況

(5) 老親扶養に関する意識

(6) 自分の老後

(7) 属 性

4 調査実施時期

昭和 60 年 11 月 1 日から同月末日までとする。

5 調査機関

労働省婦人局——都道府県婦人少年室

6 調查方法

通信自計

7 回収結果

有効回収数（率） 1,957（97.9%）

Ⅱ 調査結果の要約

1 対象者の家族等について

- 夫は、1人っ子を含めて長男が6割強、妻は兄弟のある者が8割で、本人を含めたきょうだい数は妻4.3人、夫4.2人である。
- 対象者のほとんどに子供がいるが、その平均は2.2人で、親世代のほぼ半分である。
- 対象者世帯の過半数は人口10万人未満の地域に住んでおり、そのためもあってか住居は持家一戸建が圧倒的に多い(9割)。
- 妻の7割以上は就業しており、その過半数は正規従業員である。
- 夫の勤務先は製造業、大規模企業が多く、また、管理職である者が3割である。

2 老親との同・別居状況について

- 対象者夫婦についてみると、5割強が夫の親と同居している。妻の親との同居は1割強である。
- 夫の親と同居している場合、「(夫が)結婚前から」又は「(自分と)結婚した時から」一貫して同居している者(「一貫型」という。以下同じ。)が8割近くあるが、妻の親と同居している場合は「一貫型」は7割弱である。
- 一方、夫の親と1時間以上離れたところに住んでいる者(「遠居」という。以下同じ。)約2割の遠居理由には、「他のきょうだいと同居している又は同居する予定」(5割弱)、「夫の勤務地と親の居住地が離れているが、親が同居のための移転を望まない」(3割弱)などがあげられている。

3 老親との同・隣居と職業生活について

- 老親と同居又は同一マンション内、同一敷地内の別棟等に住んでいる者(「隣居」という。以下同じ。)のうち、夫の会社に「転勤がある者」では、転勤の話が出てきた場合の対応として、「転勤があるとすれば夫が単身赴任となる」者が最も多く6割を超えている。

- 老親と同・隣居していて、仕事に就いている者では、同・隣居と働いていることとの関係として、「親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った」、「同・隣居のための経済的必要から働いている」が各々2割程度あげられている。

4 老親の生活費の負担について

夫の親の生活費は対象者の6割が負担している。

一方、妻の親の生活費を負担している者は2割である。

また、将来老親の生活費の負担が必要となったり、現在以上に負担が増えたりした場合、その出費をまかなえるかどうかについては夫の親で3割、妻の親で2割が心配なくまかなえるとしている。

5 老親の世話や介護について

- 存命の親のうち、夫の親で2割弱、妻の親で1割強が世話や介護が必要とされている。その老親の状態は「弱い、病気がち」が6割前後、「寝たきり」は2割前後となっている。介護の担当者は調査対象者である主婦が多く、次いで「親の配偶者」、「夫」となっている。世話や介護の内容は、妻は「食事づくり」、「掃除・洗濯」、「買物」が多く、夫は「通院・外出時の付き添い」が他に比べて多い。
- 同・隣居している老親の世話や介護をしているため困っていることとしては、「精神的に疲れる」が最も多く、約半数の者が訴えている。

世話や介護のための家族以外の援助としては、「留守・外出時の一時的な世話」（3割強）、「通院などの外出時の付添い」（2割弱）などが望まれている。

- 老親の世話や介護をするようになった場合、夫の会社に対して何らかの配慮を望む声も6割あるが、配慮の内容をみると、「親の看護のための年間に1週間位の有給休暇」、「完全週休2日制」、「転勤に関する配慮」がそれぞれ2割程度あげられている。

また、妻が正規従業員として働いている場合、自分の会社に対して何らか

の配慮を望む者は8割強あり、「親の看護のための長期の無給休暇」(3割強)、「親の看護のための年間に1週間位の有給休暇」(2割弱)、「親を看とった後の再雇用」(2割弱)があげられている。

- 一般論として、寝たきりの親を抱えているような場合、家族だけで介護できるかどうかについては、「家族の介護だけでやっていける」者が1割強、「家族以外の手助けや援助があれば在宅介護でやっていける」者が4割弱で、これらを合わせると半数以上の者は家族による在宅介護が可能であると考えている。

6 老親との交流について

- 同居の親と夕食を共にする頻度についてみると、8割は「おおむね一緒」である。
- 別居している夫の親との会話の頻度をみると、1時間未満の所に住んでいる者(「近居」という。以下同じ。)は、「よく話す」が3割強、「ときどき話す」が6割弱となっている。

しかし、遠居の場合は「ときどき話す」が7割弱あるが、「ほとんど話さない」者は2割弱となっている。妻の親との場合は、近居、遠居ともに夫の親に比べて会話の頻度が高い。

7 自分の老後について

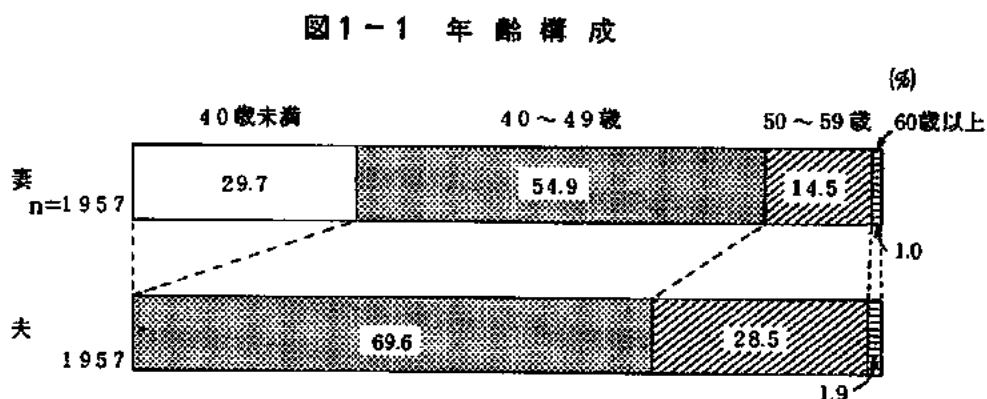
- 自分の老後生活について、「かなり不安を感じる」又は「やや不安を感じる」とする者は、「経済的な面」で7割弱、「寝たきりになったときの介護の面」で8割弱、「老後の孤独、精神的な面」で6割弱となっている。
- 自分の老後は、「夫婦そろっている時」には「自分たち夫婦だけで暮らしたい」者が6割弱で「子供夫婦と同居したい」とする者は、4分の1にすぎないが、「夫婦どちらかの身体が弱った時」には4割、「自分1人になった時」には約半数が、子供夫婦との同居を希望している。

Ⅲ 調査結果

1 調査対象者の属性

調査対象者（妻）及び夫の基本的属性は次のとおりである。

(1) 年齢構成（図1-1）

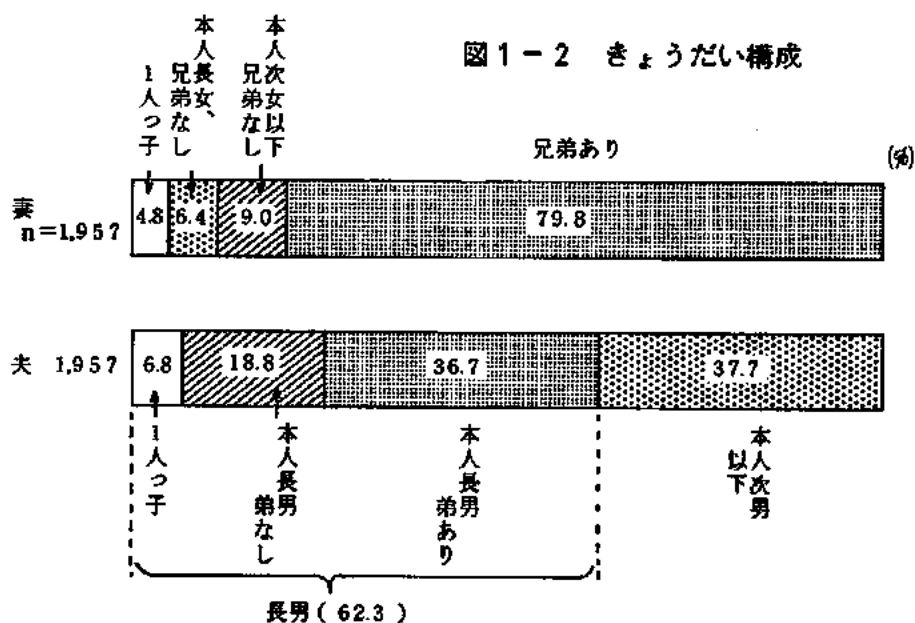


(2) きょうだい構成

調査対象者の夫は、1人っ子を含め「長男」である者が6割を超えている。

妻は、「兄弟がいる」者が8割である。（図1-2）

本人を含めたきょうだい数は、妻4.3人、夫4.2人である。

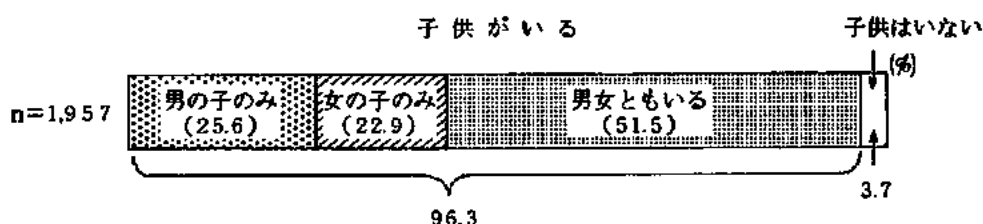


(3) 子供の状況

対象者のほとんど(96%)には子供がおり、子供の数は平均2.2人で、親世代に当たる調査対象者夫妻のきょうだい数のほぼ半分である。

このうち、子供が男女ともいる者は約半数、男の子のみと女の子のみはそれぞれ4分の1である。(図1-3)

図1-3 子供の状況



(4) 居住状況

① 居住地域

対象者の過半数は、人口10万人未満の地域に住んでいる。(図1-4-1)

図1-4-1 居住地域



注 1) 大都市とは東京都23区と指定都市をいう。

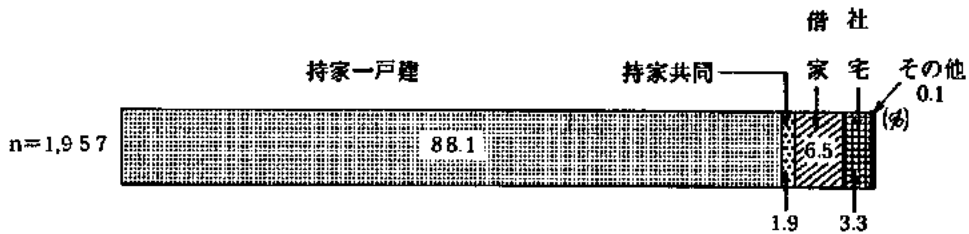
2) 中都市とは、大都市を除く人口10万人以上の市をいう。

② 住宅の状況

住宅の状況をみると、「その他の都市」、「町村」に住む対象者が多かった事の反映もあってか、持家一戸建に住んでいる者が9割である。

(図1-4-2)

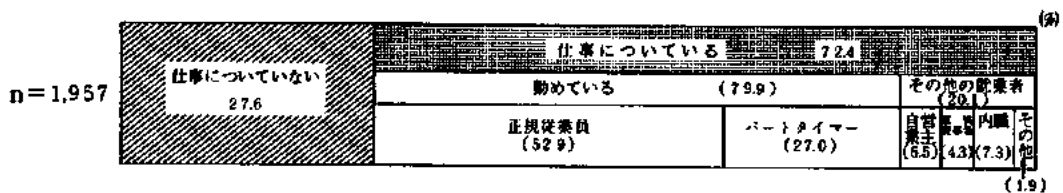
図 1-4-2 住宅の状況



(5) 妻の就業状況

調査対象者（妻）の就業状況をみると、仕事についている者は7割を超えており、そのうち正規従業員が過半数を占め、パートタイマーを含めると8割が雇用労働者（勤めている者）である。（図1-5）

図 1-5 妻の就業状況



(6) 夫の就業状況

夫の就業状況をみると、製造業が5割弱、従業員数100人以上の事業所勤務9割弱となっている。（図1-6-1、図1-6-2）

職種別にみると、管理職が3割強で、年収（税込み）は、300～500万円未満が4割強となっている。（図1-6-3、図1-6-4）

図 1 - 6 - 1 事業所の産業

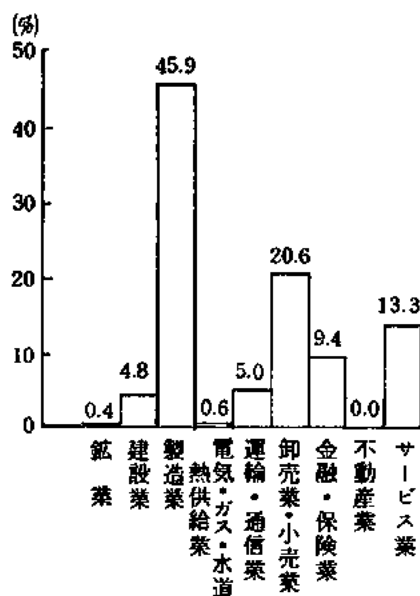


図 1 - 6 - 3 職 種

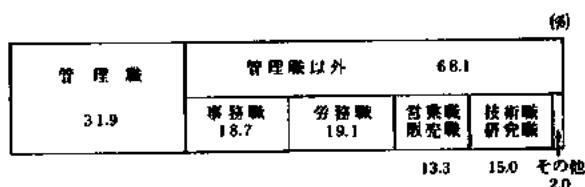


図 1 - 6 - 2 事業所の規模

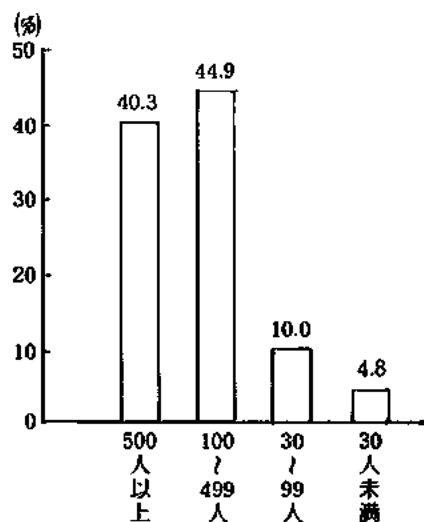
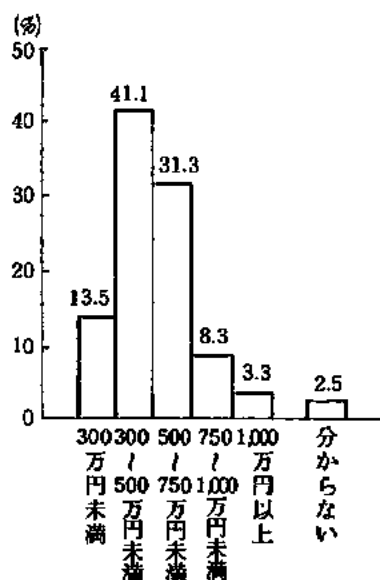


図 1 - 6 - 4 年収(税込み)



2 老親との同居、別居の状況

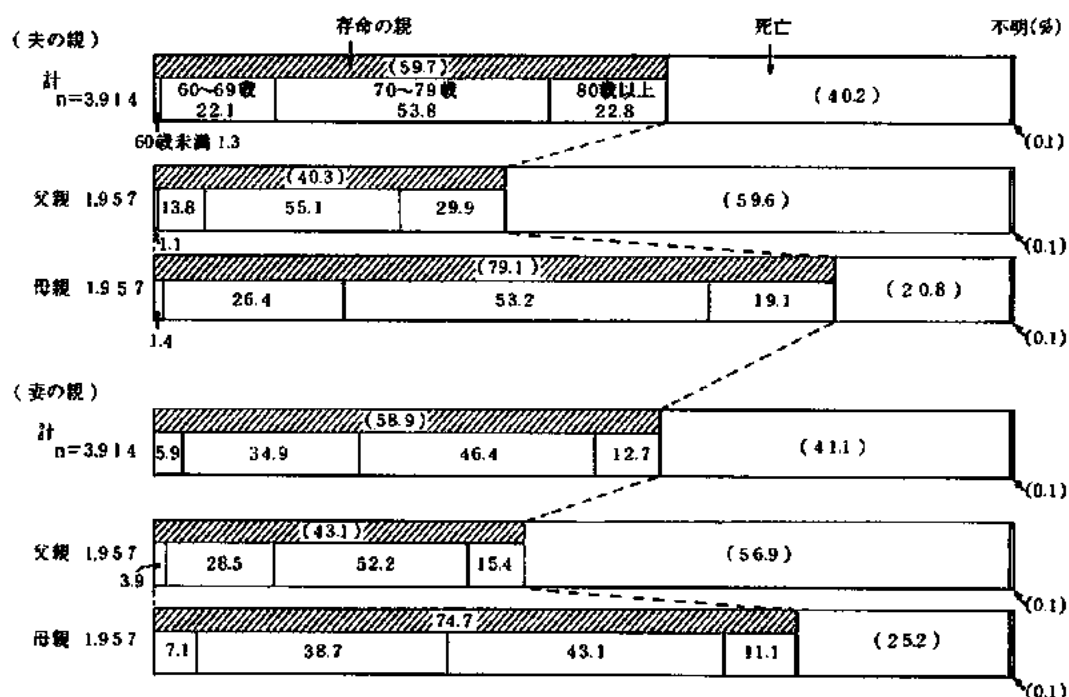
(1) 老親の存命状況

夫の親、妻の親ともに6割弱が存命である。父親は夫、妻の親ともに4割、母親は夫の親で8割、妻の親で7割強が存命しており、女親の方が存命の割合が高い。

存命の親を年齢階級別にみると、1番多いのが「70～79歳」で半数を占める。また、「80歳以上」も夫の親で2割強、妻の親で1割強いる。

(図2-1)

図2-1 老親の存命状況



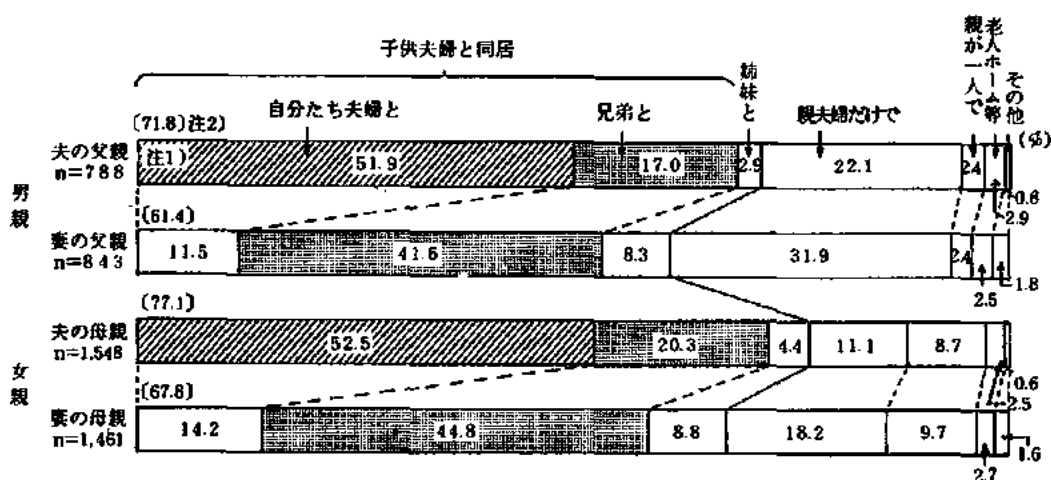
(2) 老親の居住状況

存命の親の居住状況をみると、「子供夫婦と同居している」者が多く、「親夫婦だけで暮らしている」者が次いでいる。一人暮らしや老人ホーム・病院等の施設に入所している親は少ない。

「子供夫婦と同居している」場合の内訳をみると、夫の親は「自分たち夫婦」及び「夫の兄弟夫婦」、妻の親は「妻の兄弟夫婦」等、息子夫婦と同居している者が多い。

なお、男親の場合は「子供夫婦と同居している」（6～7割）か、「親夫婦だけで暮らしている」（2～3割）割合が高いが、女親は配偶者がいない者が男親より多いこともあって「親夫婦だけで暮らしている」が男親に比べて1割程度少なく、その分「子供夫婦と同居している」と「親が1人で暮らしている」が増え、性別による違いがみられる。（図2-2）

図2-2 老親の居住状況



(3) 老親との同・別居の状況

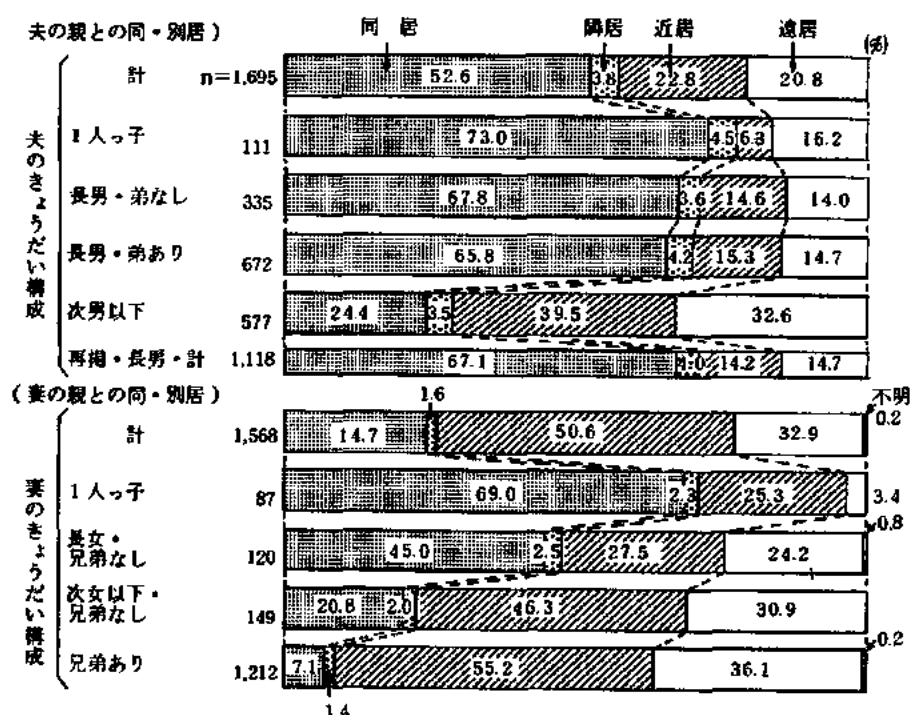
① 夫の親、妻の親との同・別居の状況

前項では老親を軸にしてその居住状況をみたが、ここでは調査対象者を軸に親との同居率をみてみる。

まず、夫の親、妻の親別に対象者との同・別居の状況をみると、夫の親が1人でも存命の者は対象者中9割弱であるが、そのうち過半数は同居している。特に夫が長男（1人っ子を含む）の場合には、夫の親との同居率は7割弱と夫が次男以下の場合（2割強）に比べて極めて高く、長男か否かにより親との同居の状況に大きな差がみられる。

一方、妻の親が1人でも存命の者は対象者中8割であるが、妻の親と同居している者はそのうち1割強であり、大部分の者は近居（5割）又は遠居（3割強）している。これは妻のきょうだい構成によって大きな差があり、妻が1人っ子や兄弟のいない長女の場合には同居率は高いが、妻に兄弟がいる場合には同居率は1割に満たない。（図2-3-1）

図2-3-1 夫の親、妻の親との同・別居の状況



- (注) 1) 隣居とは、同一マンション内、又は同一敷地内の別棟等をいう。
 2) 近居とは、子供の住宅から1時間未満の所をいう。
 3) 遠居とは、子供の住宅から1時間以上の所をいう。

② 老親との同・別居の状況

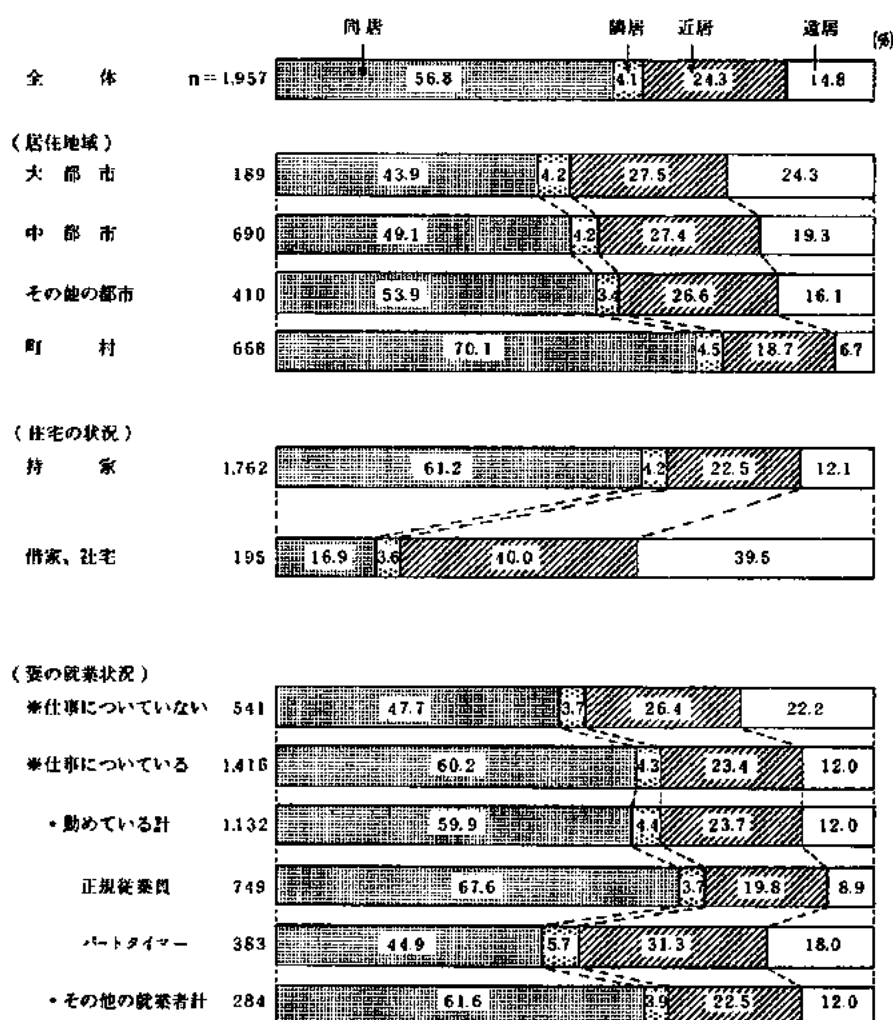
次に、夫の親、妻の親のうち対象者夫婦の最も近くに居住する者を選んで夫婦の属性別に同・別居の状況をみてみた。全体としてみると、6割弱は同居の親をかかえている。

まず、居住地域別にみると、「町村」に住んでいる者で同居が7割と多く、人口規模が大きくなるにつれて同居が減り、近居及び遠居が増える。

住宅の状況別では、「持家」に住んでいる者は6割強が同居しているが、「借家、社宅」では同居は少なく、2割弱となっている。

妻の就業状況別にみると、「正規従業員」では7割近く、「その他の就業者」では6割を超えている。これに対して、「仕事についていない」専業主婦や「パートタイマー」では同居は少ない。(図2-3-2)

図2-3-2 老親との同・別居状況

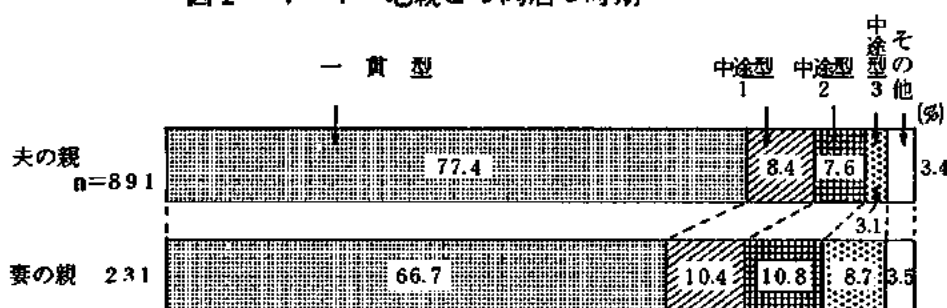


注) 対象者夫婦の最も近くに居住する親を選んでいる。

(4) 老親との同・隣居の時期

現在、老親と同・隣居している者が、同・隣居を始めた時期をみると、夫の親と同居している場合には「（夫が）結婚前から」又は「（自分と）結婚した時から」一貫して同居している者（「一貫型」という。以下同じ。）が8割近くあるが、妻の親と同居している者では、「一貫型」は7割弱で、「子供が生まれてから」（「中途型1」という。以下同じ。）、「親が老齢、病気がちになってから」（「中途型2」という。以下同じ。）、「親が1人になってから」（「中途型3」という。以下同じ。）がそれぞれ1割程度と、夫の親に比べて途中から同居した者が多い。（図2-4-1）

図2-4-1 老親との同居の時期



- (注) 1) 「一貫型」とは、結婚前から又は結婚した時から同居している者をいう。
 2) 「中途型1」とは、子供が生まれてから同居した者をいう。
 3) 「中途型2」とは、親が老齢、病気がちになってから同居した者をいう。
 4) 「中途型3」とは、親が1人になってから同居した者をいう。
 5) 「その他」とは、家を新築した時、親が退職してから、職場と親の居住地が近くなってから等上記に当てはまらない者をいう。

さらに、夫婦の属性別に同・隣居を始めた時期の違いをみてみよう。

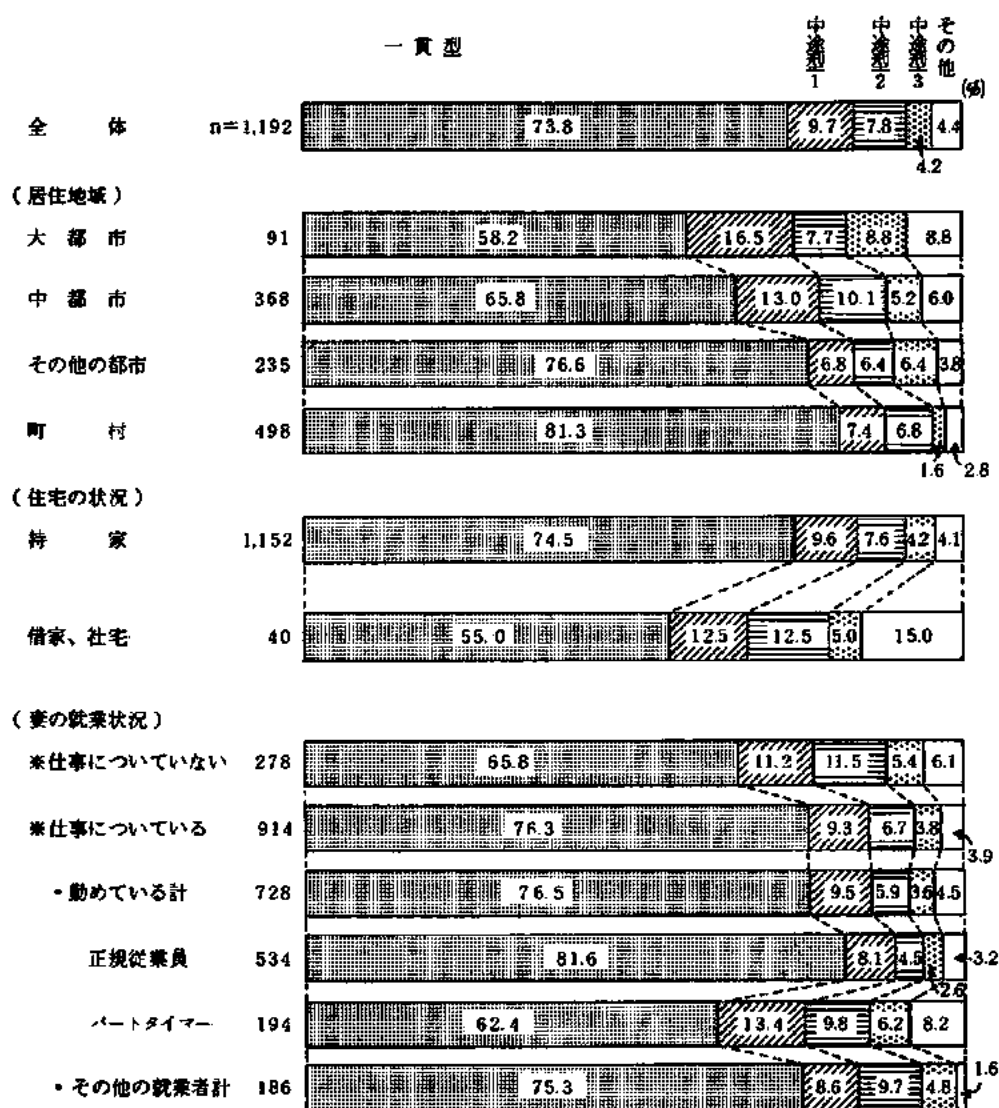
居住地域別には、人口規模が小さいほど「一貫型」が多くなり、町村では8割を超える。一方、大都市及び中都市では「子供が生まれてから」の中途型1が他に比べて多い。

住宅の状況別では、「持家」に住んでいる者は、「借家、社宅」に住んでいる者に比べて「一貫型」が多い。

妻の就業状況別では、「正規従業員」（8割）や、「その他の就業者」が専業主婦やパートタイマーに比べて「一貫型」の割合が高い。

（図2-4-2）

図 2-4-2 老親との同・隣居の時期



(5) 夫の親との遠居の理由

夫の親と遠居している者の遠居の理由は、親が「他のきょうだいと同居している、将来他のきょうだいと同居する予定である」者が約半数を占めており、「今のところ同居や隣居の必要がない」者と合わせると、親と遠居している者の6割以上は今のところ同居の必要性がない。それ以外の者では、「夫

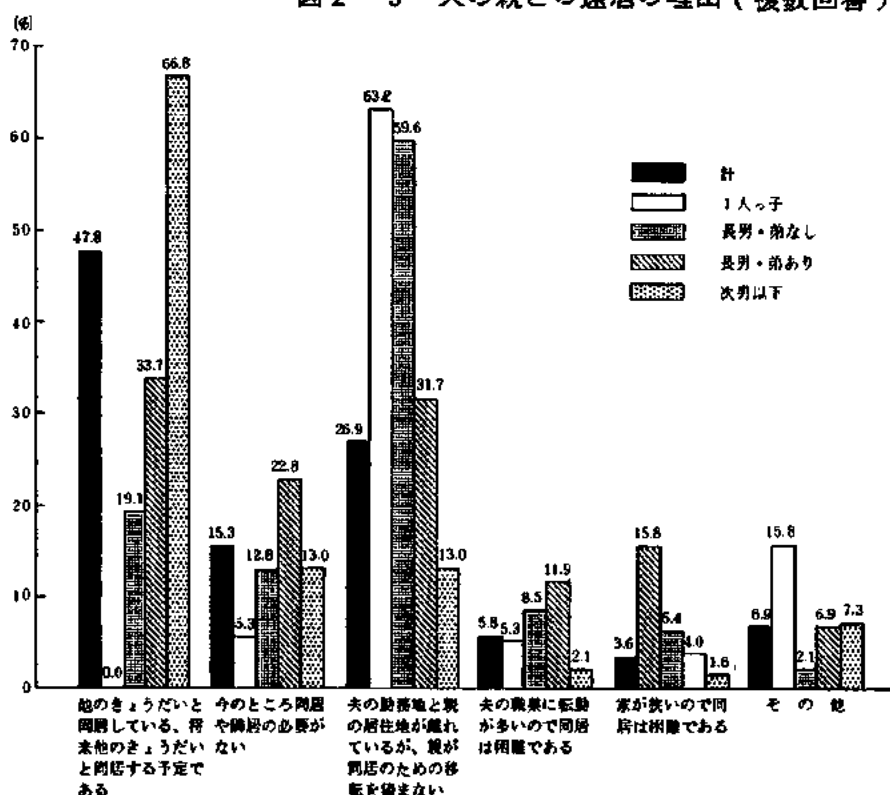
の勤務地と親の居住地が離れているが、親が同居のための移転を望まない」をあげた者が3割弱ある。「夫の職業に転勤が多いので同居は困難である」と「家が狭いので同居は困難である」は少なく、1割にも満たない。

夫のきょうだい構成別にみると、次男以下では「他のきょうだいとの同居」をあげる者が多く、長男（1人っ子を含む）では夫の勤務地と親の居住地との関係をあげる者が多い。（図2-5）

夫の役職による違いをみると、「管理職」で「夫の職業に転勤が多いので同居は困難である」者の割合が「管理職以外」に比べてやや高い。

居住地域別では、人口規模が小さくなるほど「他のきょうだいと同居している、将来他のきょうだいと同居する予定である」者が多く、逆に「夫の職業に転勤が多いので同居は困難である」、「家が狭いので同居は困難である」者は大都市ほど多いが、1割程度である。

図2-5 夫の親との遠居の理由（複数回答）



3 老親との同・隣居と職業生活

(1) 老親との同・隣居と夫の転勤の関係

夫の職業生活が老親との同・隣居に及ぼす影響についてみるために、サラリーマンにはつきものと言われる「転勤」を取りあげて、夫に転勤の話が出てきた場合に老親との同・隣居を続けるかどうか、その対応方法を見てみる。

まず、老親と同・隣居している者のうち、夫の会社に「転勤がある」者は4割弱である。転勤のある者のうち、「親がいる場合、転勤をしなくてもよい」と、親との同・隣居を配慮される者はほとんどいない。夫に転勤の話が出てきた場合、「転勤があるとすれば、夫が単身赴任となる」者が最も多く6割を超えている。(図3-1)

同・隣居の時期別にみると、いずれにおいても「単身赴任」が5割前後あるが、なかでは、結婚当初から同・隣居している「一貫型」で「転勤があるとすれば、夫が単身赴任となる」者の割合が多い。「一貫型」で単身赴任が多いのは、以前から夫又は自分が親と住んでいた家に結婚して同居するようになったケースが大部分であろうから、親も対象者夫婦も、一定期間の転勤のために住み慣れた家や土地を離れることを望まないことなどが考えられる。

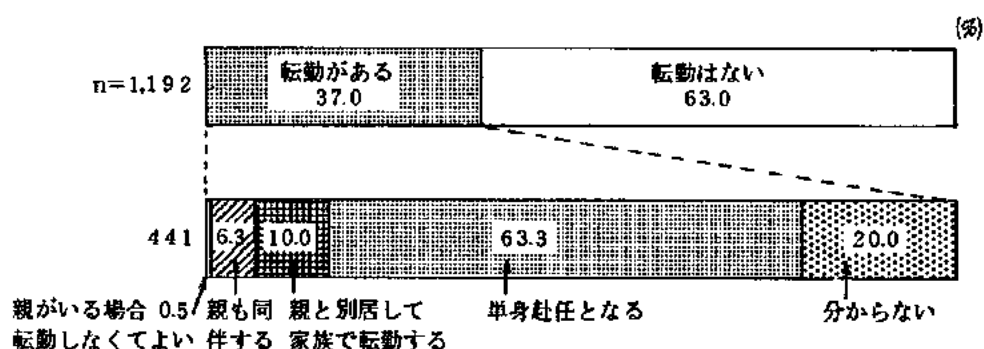
夫の年齢別には、いずれも単身赴任が6割を超えるが、40代では「親と別居して家族で転勤する」者が、50代では「転勤の時は親も同伴する」者が他の年代よりやや多くなっている。

夫の役職別には、「管理職」の方が「管理職以外」の者に比べて転勤のある者が多いが、転勤への対応には大きな違いはみられない。

居住地域別には、「大都市」、「中都市」で「転勤がある」者が多く、転勤への対応については、人口規模が小さくなるほど「転勤があるとすれば、夫が単身赴任となる」者が増加している。

妻の就業状況別にみると、妻が「正規従業員」の場合には「転勤があるとすれば、夫が単身赴任となる」者が7割を超えており、専業主婦、パートタイマーでは「親と別居して家族で転勤する」及び「転勤の時は親も同伴する」者が正規従業員に比べるとやや多い。

図 3-1 老親との同・隣居と夫の転勤の関係



(2) 老親との同・隣居と妻の就業の関係

次に、老親と同・隣居して仕事に就いている妻は同・隣居と自分の就業の関係をどのように受けとめているのかみてみよう。

現在、老親と同・隣居して仕事についている者に対して、同・隣居と働いていることと関係があるかどうかを聞いたところ、「特に関係はない」とする者が最も多く（3割強）、次いで、「親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った」、「同・隣居のための経済的必要から働いている」（各2割）となっている。

しかし、これも妻の就業状況によってやや傾向が異なっている。

親と同居している者についてみると、勤めている者については、「特に関係はない」、「親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った」者は「正規従業員」と「パートタイマー」とも3割程度とほぼ同じである。しかし、「正規従業員」では、「共働きをしているので、親との同居を希望した」者が1割強とパートタイマーに比べてやや多く、「パートタイマー」では、「同居のための経済的必要から働いている」者が正規従業員に比べてやや多い。一方、「その他の就業者」（自営業主、家族従業者、内職など）では、勤めている者に比べて「同居している親の家業を手伝っている」者や「同居の親の世話や介護のため外に出られず内職をしている」者の割合が高い。（図3-2）

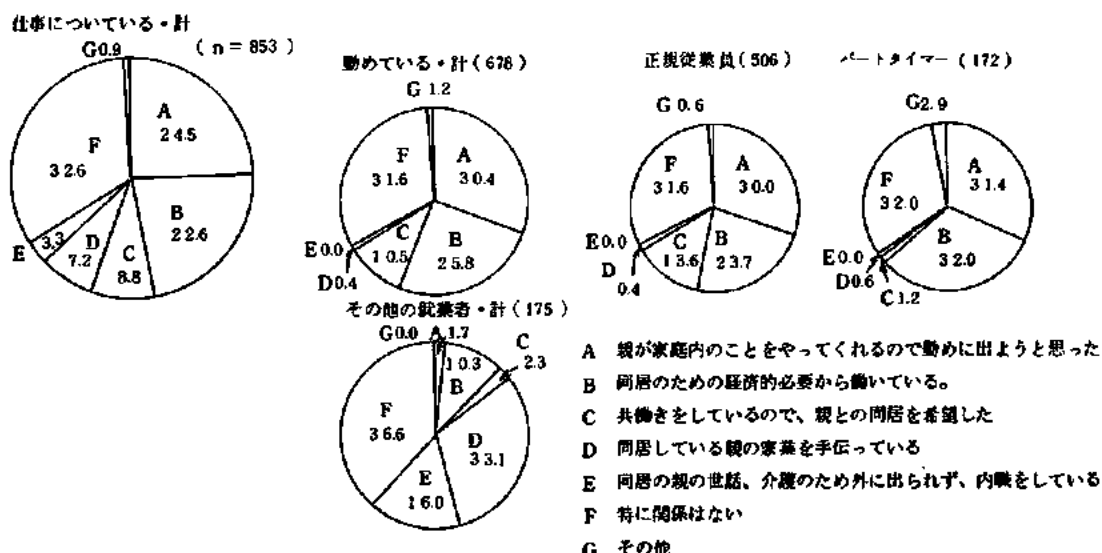
妻の年齢別では、若い層ほど「親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った」及び「同居又は隣居のための経済的必要から働いてい

る」をあげる割合がやや高い。

同・隣居の時期別では、「一貫型」で「親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った」者が多い。子供が生まれてから同・隣居した「中途型1」では「共働きをしているので、親との同居又は隣居を希望した」者が他に比べて多い。親が老齢、病気がちになってから同・隣居した「中途型2」では「同居又は隣居の親の世話、介護のため外に出られず、内職をしている」者の割合が他に比べて高くなっている。また、親が1人になってから同・隣居した「中途型3」では「特に関係はない」者が多い。

夫の年収別にみると、夫の年収が高い層ほど「特に関係はない」者の割合が高く、夫の年収が低い層ほど「親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った」者や「同居又は隣居のための経済的必要から働いている」者の割合が高い。

図3-2 就業形態別にみた老親との同居と妻の就業の関係



4 老親の生活費の負担

(1) 老親の生活費の負担状況

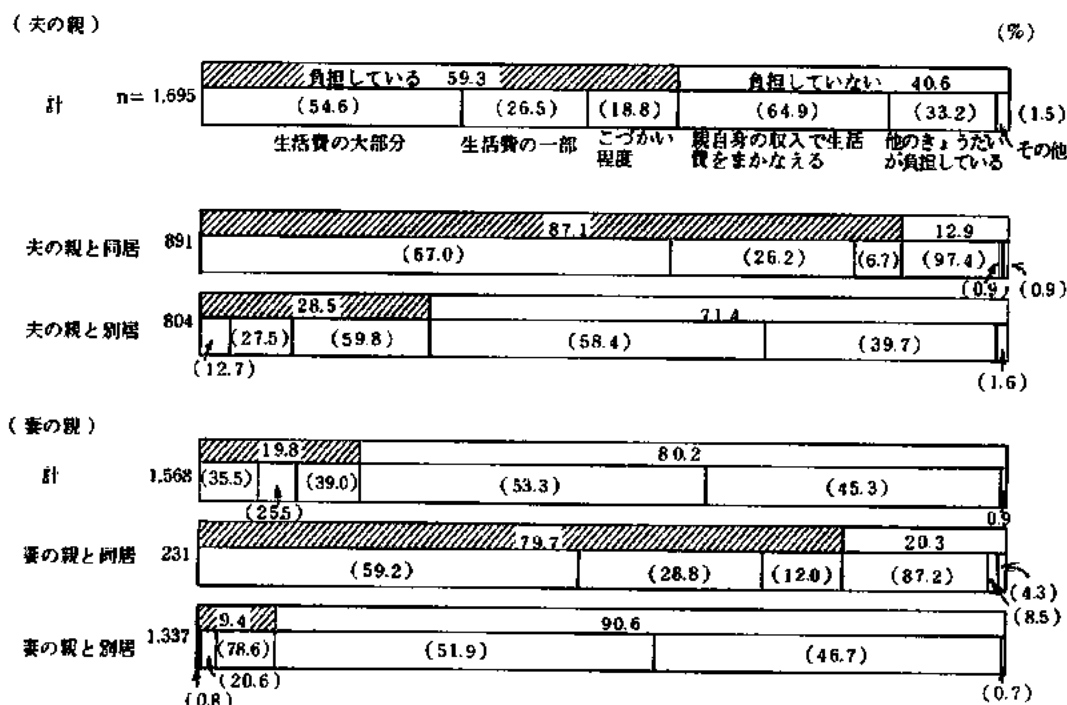
同居・別居にかかわらず、夫の親の生活費を負担している者は6割で、その過半数は「生活費の大部分」を負担している。妻の親の生活費を負担して

いる者は2割となっている。負担していない理由としては、「親自身の収入で生活費をまかなえる」（夫の親6割強、妻の親5割強）、「他のきょうだいが負担している」（夫の親3割強、妻の親5割弱）があげられる。

これは、親との同・別居状況で大きく異なっており、親と同居している場合には生活費を負担している割合が高く（夫の親9割弱、妻の親8割）、負担額も「生活費の大部分」を負担している者が多い。一方、別居している場合には負担している割合は低く（夫の親3割弱、妻の親1割）、内訳も「こづかい程度」（夫の親6割、妻の親8割弱）と、特に妻の親についての負担は軽い。（図4-1）

きょうだい構成別にみると、夫が長男（1人っ子を含む）の場合、7割強が夫の親の生活費を負担しており、「生活費の大部分」という者が6割と多い。しかし、次男以下では負担している者は4割弱で、負担額も、「生活費の一部」又は「こづかい程度」とをあわせて6割と少額の者が多い。妻の場合は、1人っ子で6割強、姉妹のみの長女で5割弱が自分の親の生活費を

図4-1 老親の生活費の負担状況



負担しており、その半数が「生活費の大部分」を負担している。負担していない場合は、親自身の収入で生活費をまかなえる者が多い。しかし、兄弟がいる場合は親の生活費を負担している者は1割強にすぎず、しかもその半数は「こづかい程度」の負担であり、親の生活費は他のきょうだいが負担しているとする者が多い。

親の経済的扶養については、親と同居しているか否か、夫が長男か否か、本人に兄弟がいるか否かによって大きく異なっている様子がうかがわれる。

(2) 将来の老親の生活費の負担増に対する心配

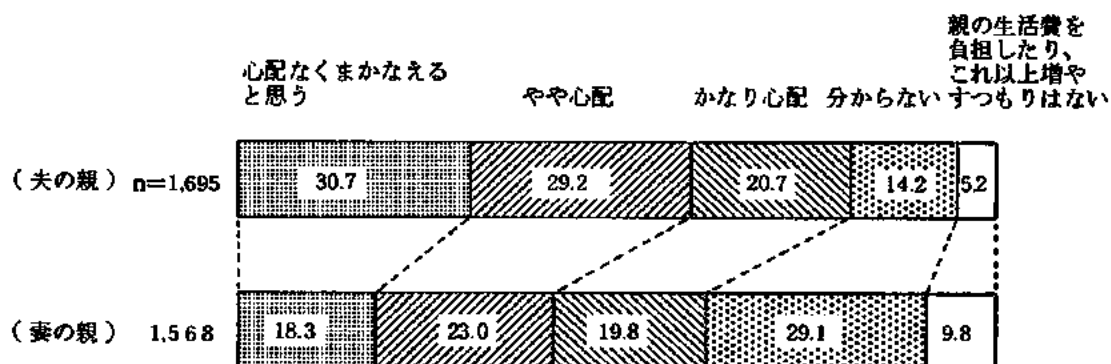
現在は親の生活費を負担していなくても、将来負担が必要となったり、現在負担している以上に負担が増えることも考えられる。もしも、将来親の生活費の負担を増やす必要が生じた場合、その出費がまかなえると思うかどうか、その心配度についてきいてみた。

夫の親の生活費の負担増については、「やや心配である」(3割)、「かなり心配である」(2割)とする心配派が半数を占め、「心配なくまかなえると思う」者が3割である。一方、妻の親については「心配派」が4割強、「心配なくまかなえる」者が2割弱で、「分からない」者が3割である。

(図4-2)

親との同・別居別でみると、同居している場合には「心配なくまかなえると思う」(夫の親4割、妻の親3割強)や「やや心配である」(夫の親、妻の親とも3割強)が多く、「かなり心配である」(夫の親、妻の親とも2割弱)、「分からない」(夫の親、妻の親とも1割に満たない)者は少ない。

図4-2 将来の老親の生活費の負担増に対する心配



別居している場合は、夫の親では「やや心配である」と「かなり心配である」がそれぞれ約3割であるのに対して、妻の親では、「わからない」者が3割強で、「やや心配である」と「かなり心配である」者はそれぞれ2割となっている。また、同居に比べて、夫の親、妻の親ともに、「親の生活費を負担したりこれ以上増やすつもりはない」者が多くなっている。

夫、妻のきょうだい構成別にみても、親の扶養を現に担っている者、あるいは将来担うことが期待されている1人っ子や長男、長女（兄弟なし）では「心配なくまかなえると思う」割合が高く、次男以下や次女以下あるいは兄弟ありの長女で「分からない」者や「親の生活費を負担したり、これ以上増やすつもりはない」者の割合が高くなっている。

夫、妻の年齢別では、年齢が上がるほど「心配ない」が増える。

5 老親の世話や介護

高齢化社会において、老親の介護問題は重要な課題の1つであるが、勤労者家庭では世話や介護の必要な親をどの程度抱えているのであろうか。

(1) 老親の世話や介護の状況

① 世話や介護の必要状況

世話や介護を必要とする親の存命の親に占める割合は、夫の親で2割弱、妻の親で1割強となっており、その割合は夫・妻の年代が上がるにつれて増えている。

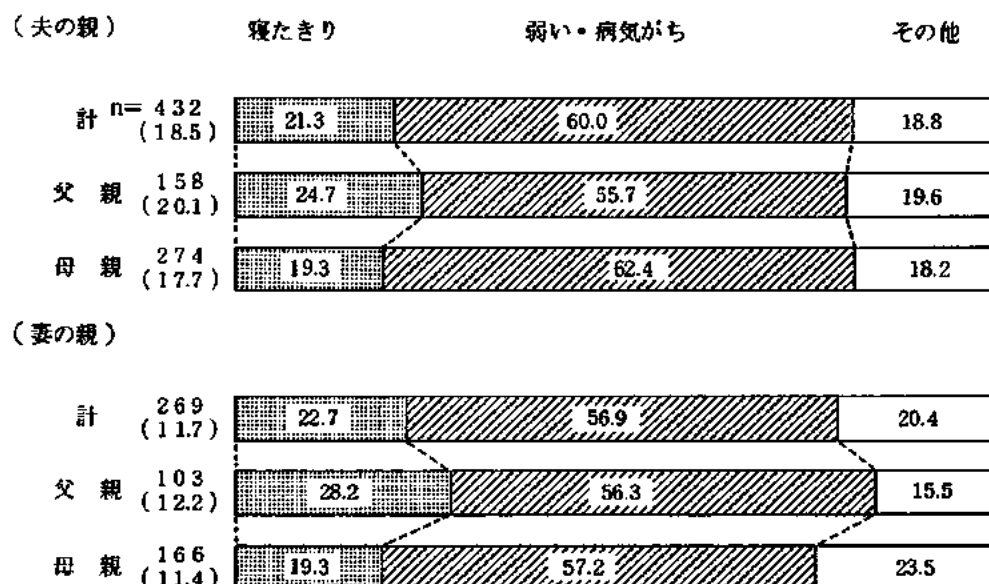
その状況は、夫の親、妻の親ともに「弱い・病気がち」が6割、「寝たきり」が2割程度である。「寝たきり」の割合は、女親よりも男親の方が多い。（図5-1-1）

② 世話や介護の担当者

世話や介護の必要な親がいる場合、その世話や介護は誰がしているのかをみてみよう。

男親の場合には、夫の親、妻の親とも「親の配偶者」が担当する割合が5割近いが、女親の場合は配偶者のいない者が男親に比べて多いこともあって、「親の配偶者」が担当する割合は1割前後と少なく、嫁や娘の立場にある

図 5-1-1 世話や介護の必要な老親の状況



注 () 内の数字は、存命の親に対する世話や介護の必要な老親の割合である。

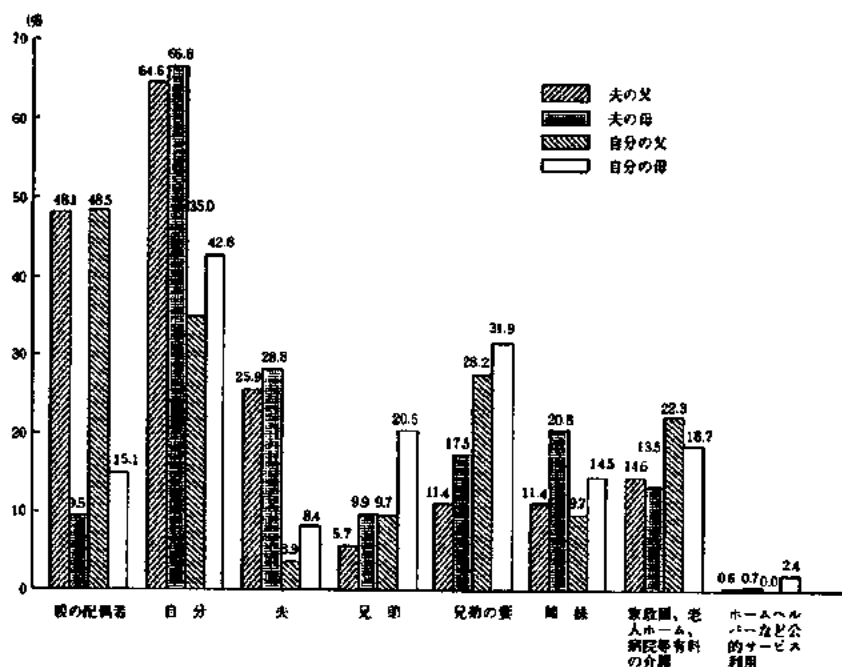
「自分」や「自分又は夫の兄弟の妻」、「自分又は夫の姉妹」が担当する割合が多い。

家族以外では、「家政婦、老人ホーム、病院等有料の介護」を1割強から2割利用しているのに対し、「ホームヘルパーなど公的サービス」を利用している者は極く少ない。(図5-1-2)

夫の親についてみると、夫が長男である場合は長男の嫁である「自分」が担当している割合が極めて高く、「夫」も担当している割合が高い。夫が次男以下では、兄弟の妻や兄弟が担当している割合が増え、「自分」や「夫」の割合が減る。

一方、妻の親については、妻が1人っ子や長女(兄弟なし)である場合は「自分」が担当している割合が高いが、次女以下(兄弟なし)では姉妹が、兄弟がいる場合には、兄弟の妻が担当している割合が高くなっている。なお、夫が妻の親の世話や介護を担当する割合は少ない。

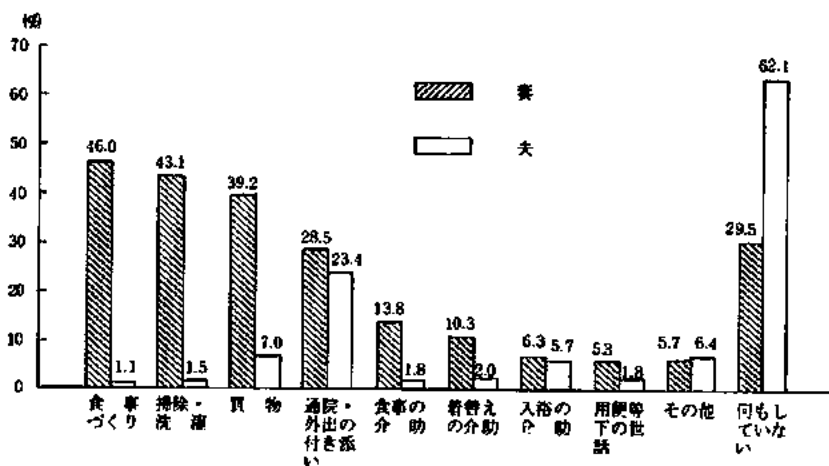
図 5 - 1 - 2 老親の世話や介護の担当者（複数回答）



③ 世話や介護の内容

世話や介護の必要な親がいる場合、調査対象夫婦はどのような世話をしているのかをみると、妻は「食事作り」、「掃除・洗濯」、「買物」が多く、夫は「通院、外出の付き添い」が多い。また、夫の場合は「何もしていない」が6割強もある。（図 5 - 1 - 3）

図 5 - 1 - 3 老親の世話や介護の内容（複数回答 n=543）



(2) 同・隣居の老親の世話や介護の状況

① 世話や介護の必要状況

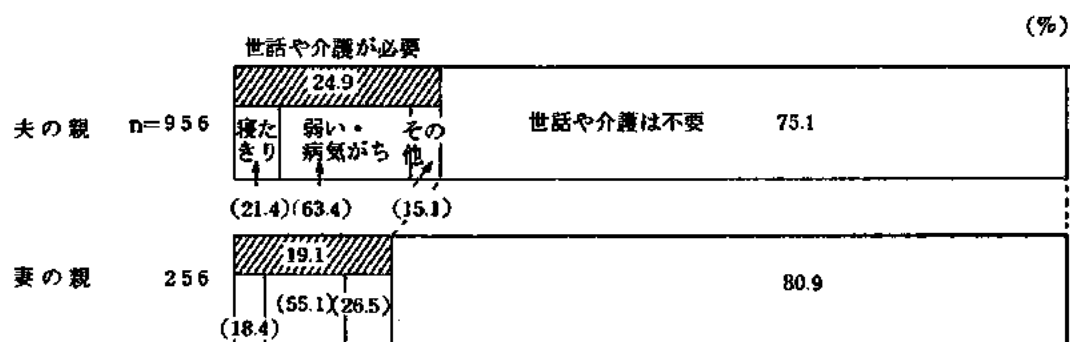
夫の親と同・隣居している場合 4 人に 1 人は、現在世話や介護の必要な親を抱えている。妻の親との同・隣居では、5 人に 1 人の割合である。

老親の状況は、夫の親、妻の親とも「寝たきり」は 2 割前後、「弱い、病気がち」は 6 割前後で、全体の割合と同・隣居の場合とで特に差はみられない。(図 5-2-1)

妻の就業状況別にみると、妻が勤めている場合に世話や介護の必要な親のいる割合が低く、特に正規従業員として勤めている者の場合は最も低くなっている。

夫、妻のきょうだい構成別にみると、親との同居率の低かった「次男以下」の夫、「兄弟あり」の妻で、世話や介護の必要な親のいる割合が高くなっており、世話や介護のために同・隣居している様子がうかがわれる。

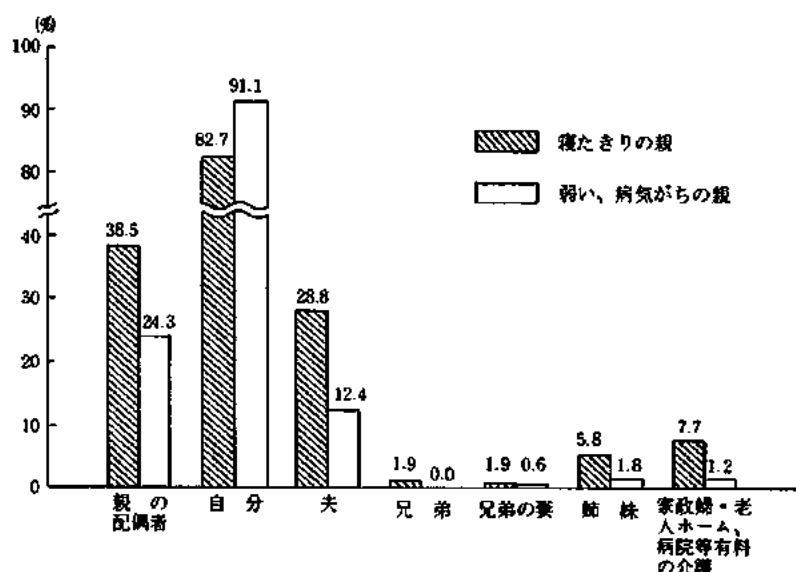
図 5-2-1 同・隣居の老親の世話や介護の必要状況



② 世話や介護の必要な老親と同居している場合の担当者

「寝たきり」又は「弱い、病気がち」の親と同居している場合の世話や介護の担当者をみると、主婦である「自分」が世話をしている割合が圧倒的に高い。次いで「親の配偶者」、「夫」となっており、他のきょうだいの手助けや有料介護の利用は極くわずかである。(図 5-2-2)

図5-2-2 同居している老親の世話や介護の担当者（複数回答）



③ 老親の世話や介護で困っていること

世話や介護に必要な親と同・隣居している妻に対して、そのために困っているかどうか聞いたところ、「特に困っていることはない」者は2割強にすぎず、8割弱の者は何かしら悩みを抱えている。

困ったことの内容別では、「精神的に疲れる」者が過半数、「身体が疲れる」及び地域活動、趣味活動をはじめ、交際や買物等「自分の時間が持てない」悩みを持っている者が4分の1いる。（図5-2-3）

これを親の介護の必要状況別にみると、「寝たきり」の親の世話をしている場合は、「困っていることはない」は1割にみたず、「精神的に疲れる」（7割弱）、「自分の時間が持てない」（5割弱）、「身体が疲れる」（4割強）、「医療費、介護費用がかかり、家計が圧迫される」（3割弱）等を訴えている者が他に比べて多い。

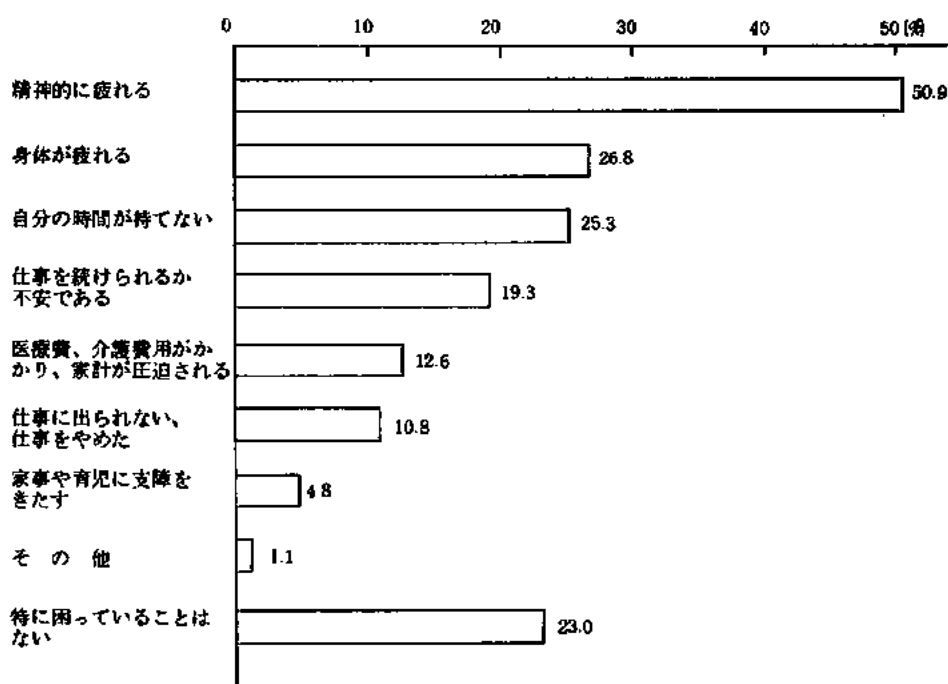
また、妻の就業状況別にみると、専業主婦及び自営業主、家族従業者、内職などその他の就業者に「精神的に疲れる」や「自分の時間が持てない」をあげる者が多い。また、現在勤めている者は、「仕事を続けられるか不安である」をあげる者が多く、特に正規従業員では4割近くが親の世話の

ための就業中断の不安を訴えている。専業主婦では4人に1人が「仕事に出られない、仕事をやめた」をあげており、親の世話のために就業を断念している様子がうかがえる。また、「家計が圧迫される」とする者はパートタイマーに多い。

夫の年収別にみると、年収が高い層で困っていることを訴える者が多く「精神的に疲れる」、「自分の時間が持てない」をあげる者が多い。また、夫の年収が高い層で「仕事に出られない、仕事をやめた」をあげる者が多く、低い層では就業を続けているものの、「仕事を続けられるか不安である」者が多い。

図5-2-3 同・隣居している老親の世話や介護で困っていること

(複数回答、n = 269)



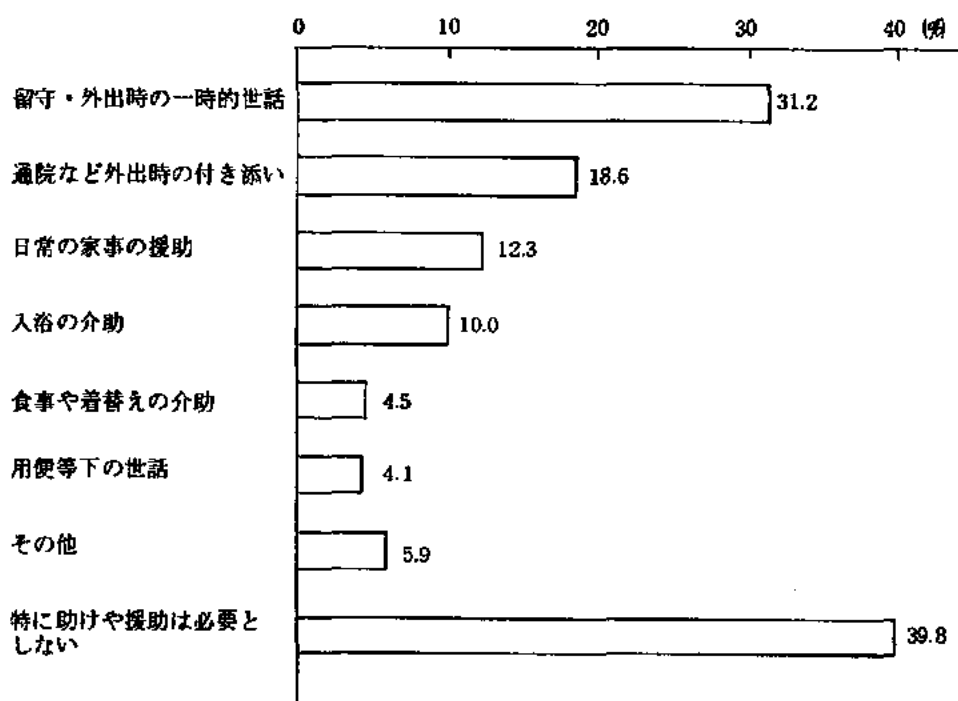
④ 老親の世話や介護で望まれる家族以外の援助

老親と同・隣居して世話や介護をしている妻が望む世話や介護のための家族以外の手助けや援助については、「特に手助けや援助は必要としない」

とする者は4割で、現に親の世話をしている主婦のうち家族以外からの援助を望む者は6割ある。その内容としては、「留守・外出時の一時的な世話」（3割強）、「通院など外出時の付き添い」（2割弱）など、日常的な世話の援助というよりは、むしろ臨時的な肩代わりといったものが望まれている。（図5-2-4）

これを親の介護の必要状況別にみると、「寝たきり」の親を抱える主婦では「特に手助けや援助は必要としない」者は2割しかいない。望んでいる援助としては、「留守・外出時の一時的な世話」、「入浴の介助」、「通院など外出時の付き添い」などのほか、直接的な親の世話ではないが、親の世話に手を取られておろそかになりがちな「買物、食事の準備、洗濯、掃除等日常の家事の援助」をあげる者も他に比べて多い。一方、「弱い、病気がち」な親を抱える主婦の半数近くは「特に手助けや援助は必要としない」と答えている。

図5-2-4 同・隣居している老親の介護で望まれる家族以外の援助
（複数回答、n = 269）



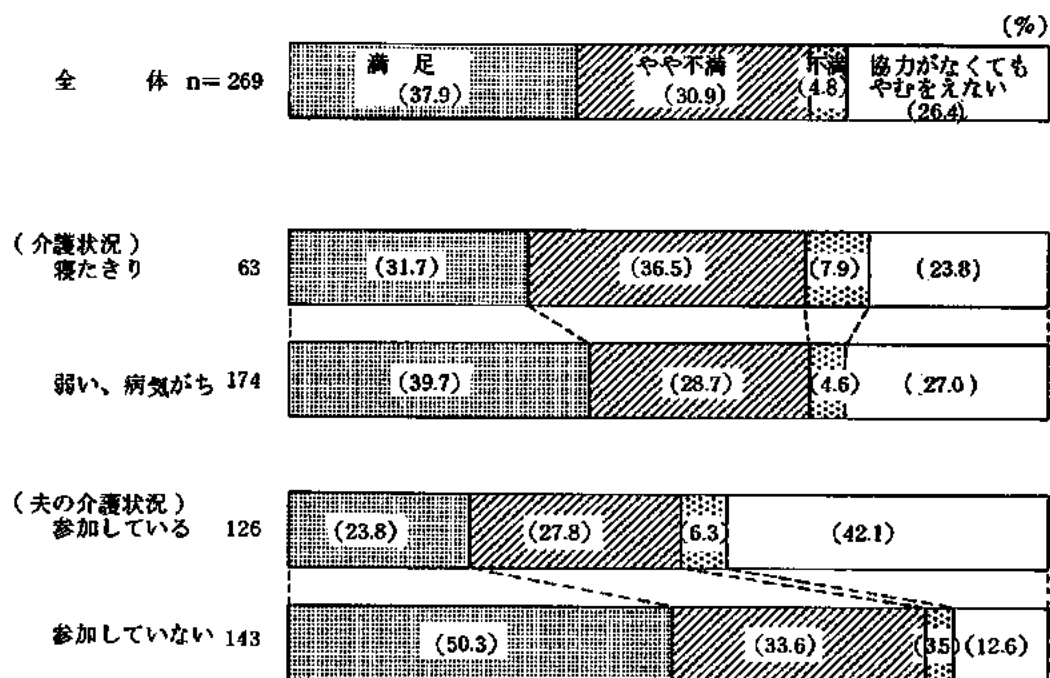
妻の就業状況別では、専業主婦で「留守・外出時の一時的な世話」を望む者が多い。正規従業員では「通院など外出時の付き添い」や「買物・食事の準備、洗濯、掃除等日常の家事の援助」を望む者が他に比べて多い。

⑥ 老親の世話や介護に対する夫の協力への満足度

親の世話や介護に対する夫の協力に対して、妻の4割近くは「満足」しており、さらに「協力がなくてもやむを得ない」を合わせると6割を超え、「やや不満」、「不満」を合わせた「不満派」は3分の1である。

「満足度」には、世話や介護の「必要度」と、実際に世話や介護に協力している「参加度」との2つの要素が大きく影響している。親の世話や介護の必要状況別では、重度の介護を要する「寝たきり」の親を抱えている場合に「満足」や「協力がなくてもやむを得ない」が減り、「不満派」が増える。夫の世話や介護への参加状況をみると半数近くの夫が何らかの世話や介護を行っている。ところが、夫の協力についての満足度をみると、夫

図5-2-5 同・隣居している老親の世話や介護に対する
夫の協力への満足度



が世話や介護に「参加していない」方が高く、半数以上の妻が「満足」しているのに対し、「参加している」場合は「満足」している妻は2割強にすぎず、4割以上のものは「協力がなくてもやむをえない」としている。これは、夫が不参加の場合には、親の介護の「必要度」が低いことが多く、夫が不参加でも「満足」できる場合が多いと考えられる。(図5-2-5)

また、妻の年齢別にみると、年齢が上がるほど「満足」及び「協力がなくてもやむを得ない」者が多く、若い層ほど「不満派」が多い。

妻の就業状況別では、勤めている者で「満足」とする者の割合が高く、専業主婦及びその他の就業者で「協力がなくてもやむを得ない」者が多い。

(3) 老親の世話や介護で企業に望まれる配慮

親の世話や介護をするようになった場合に、勤務先の会社に対して望む配慮は何か項目をあげて聞いたところ、夫の会社に対しては、「親の看護のための年間に1週間位の有給休暇」、「完全週休2日制」、「転勤に関する配慮」がそれぞれ2割程度あげられている。しかし、「特に要望することはない」者も4割おり、親の介護のために夫の職業生活にまで影響を及ぼすことを望まない妻が少なくない。特に妻の年齢が高いほどその傾向は顕著である。

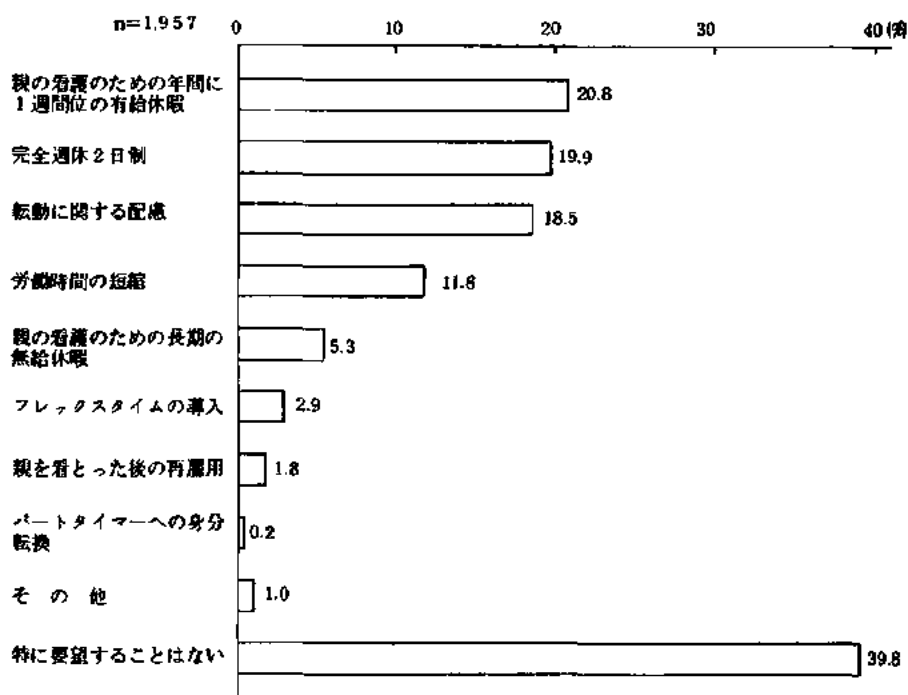
一方、妻が正規従業員として働いている者に対して、自分の会社に対して望む配慮を聞いたところ、「親の看護のための長期の無給休暇」をあげる者が3割強と多く、次いで「親の看護のための年間に1週間位の有給休暇」、「親を看とった後の再雇用」がそれぞれ2割弱となっている。また、「特に要望することはない」も2割となっている。

夫の会社に対して望むことと比べると、自分の会社には、親の世話や介護をしなければならなくなった場合には、勤務よりも介護を主にして、無給でも比較的長期間休暇ないし休職することにより親の介護に専念できるような配慮を望む傾向にある。夫の会社には、勤務に支障のない程度の年間に1週間ないし週に2日程度の有給の休暇により、介護において補助的役割を果たし得るような配慮を望む傾向にある。(図5-3)

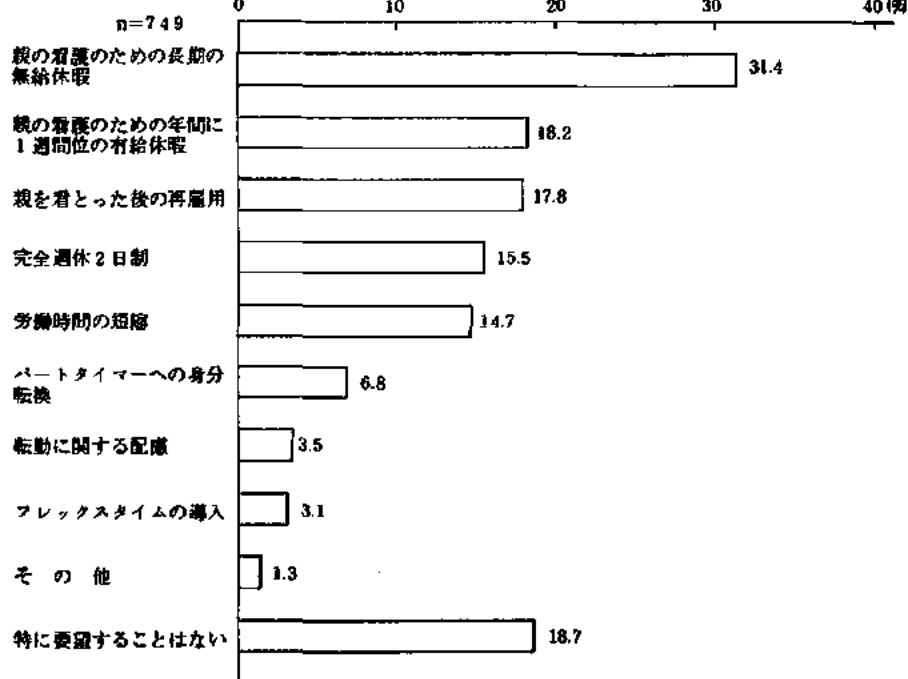
また、現に寝たきりの親がいる妻(ただし、介護しているとは限らない)は、「親の看護のための年間に1週間位の有給休暇」、「親の看護のための

図5-3 老親の世話や介護で企業に望まれる配慮（複数回答）

（夫の会社に望むこと）



（妻の会社に望むこと）



長期の無給休暇」を4割弱の者が望んでおり、「労働時間の短縮」、「完全週休2日制」、「親を看とった後の再雇用」についてはそれぞれ2割前後の者が望んでいる。

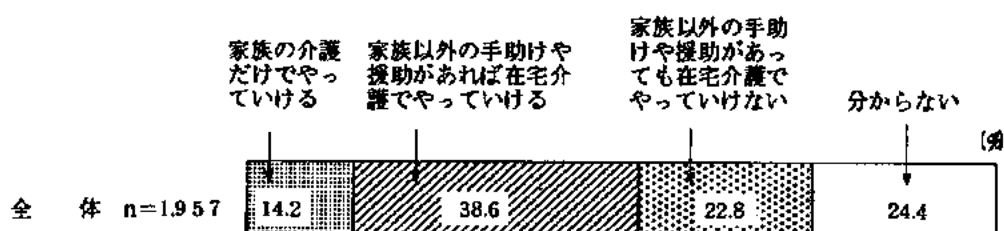
(4) 寝たきりの老親の家族介護の可能性

一般論として、寝たきりの親を抱えているような場合、家族の介護だけでやっていけると思うかどうか聞いたところ、「家族以外の手助けや援助があっても在宅介護ではやっていけない」とする者が2割強、「家族以外の手助けや援助があれば在宅介護でやっていける」とする者が4割弱で、「家族の介護だけでやっていける」とする者と合わせると、半数以上の者は家族による在宅介護が可能であると考えている。(図5-4)

実際に世話や介護の必要な親がいるか否かによる違いをみると、そのような親がない場合には「わからない」が、いる場合には「家族以外の手助けや援助があっても在宅介護ではやっていけない」が多くなっており、特に、「寝たきり」の親がいる場合は「家族以外の手助けや援助があっても在宅介護ではやっていけない」とする者が3割を超えている。

妻の就業状況別では、いずれの場合も「家族以外の手助けや援助があれば在宅介護でやっていける」者が最も多いが、正規従業員の場合は「家族以外の手助けや援助があっても在宅介護ではやっていけない」者が他に比べて多くなっており、専業主婦や自営業主、家族従業者、内職者等、家庭内で仕事をしている場合には「家族以外の手助けや援助があれば在宅介護でやっていける」者が多くなっている。

図5-4 寝たきりの老親の家族介護の可能性



妻の年齢別にみると、年齢が高くなるほど「家族の介護だけでやっていける」者が多く、年齢が低くなるほど「家族以外の手助けや援助があれば在宅介護でやっていける」や「家族以外の手助けや援助があっても在宅介護ではやっていけない」者が多くなる。

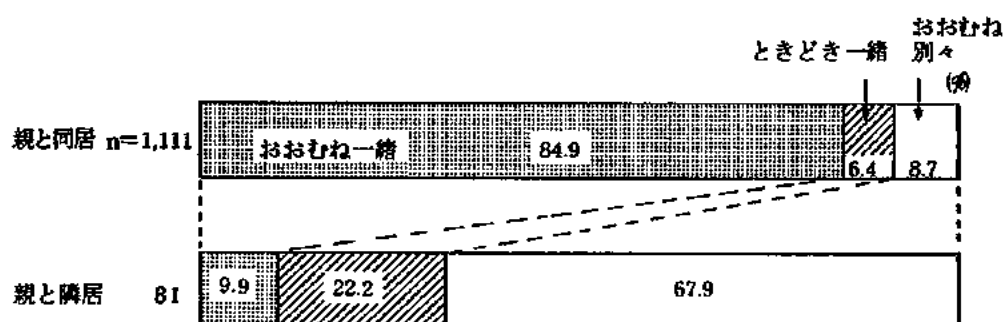
6 老親との交流

(1) 同・隣居の老親と夕食を共にする頻度

同・隣居の親がいる場合、どの程度一緒に夕食をしているかみてみると、親と同居している者では「おおむね一緒」にする者が8割を超えている。

一方、親と隣居している場合には、「おおむね別々」が7割近いが、「ときどき一緒」の者が2割強、「おおむね一緒」の者も1割いる。(図6-1)

図6-1 同・隣居の老親と食事をする頻度



(2) 近・遠居の老親との会話の頻度

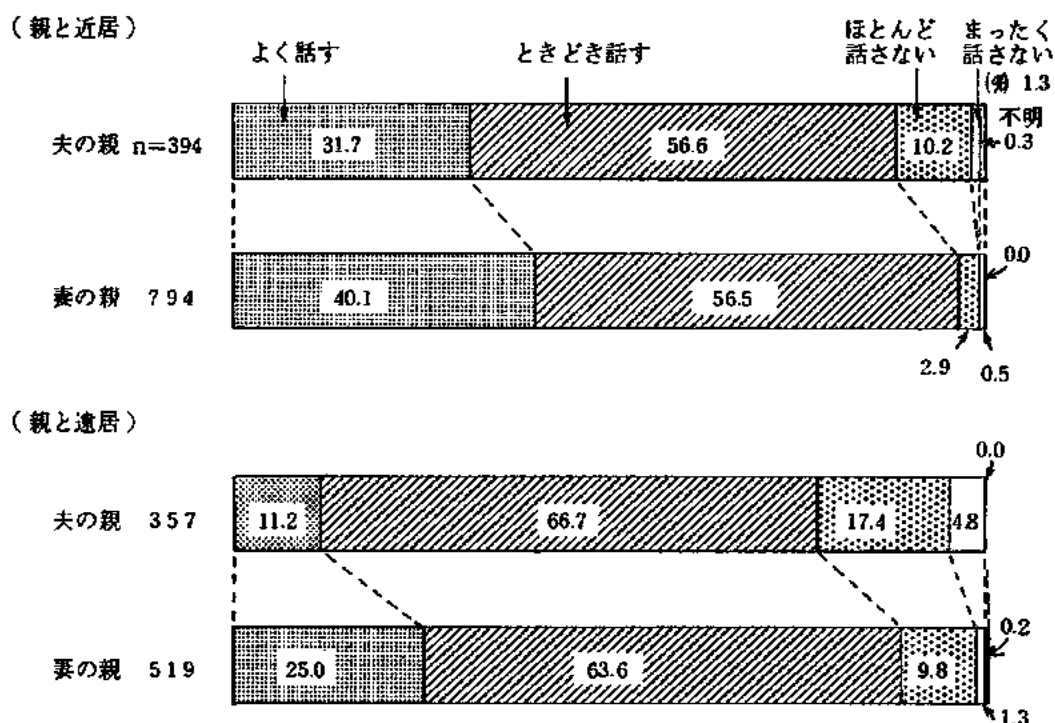
近・遠居の親がいる場合、対象者やその家族は離れて生活している親と電話などを含めてふだんの程度話をしているかをみると、夫の親とは、近居の場合、「よく話す」(3割強)、「ときどき話す」(6割弱)と9割近くが比較的交流している。

これが遠居になると、「ときどき話す」は7割弱いるが、「ほとんど話さない」(2割弱)が増えてくる。

一方、自分の親とはよく話しており、特に近居の場合は、「よく話す」(4割)、「ときどき話す」(6割弱)者でほとんどを占める。遠居の場合

は、夫の親の場合と同様に話す頻度が落ちるが、それでも「よく話す」者は4分の1いる。(図6-2)

図6-2 近・遠居の老親と会話をする頻度



7 自分の老後

(1) 自分の老後生活に対する不安

対象者自身の老後生活について不安を感じているかどうか、「経済的な面」、「寝たきりになった時の介護の面」、「老後の孤独、精神的な面」の3点についてきいてみた。

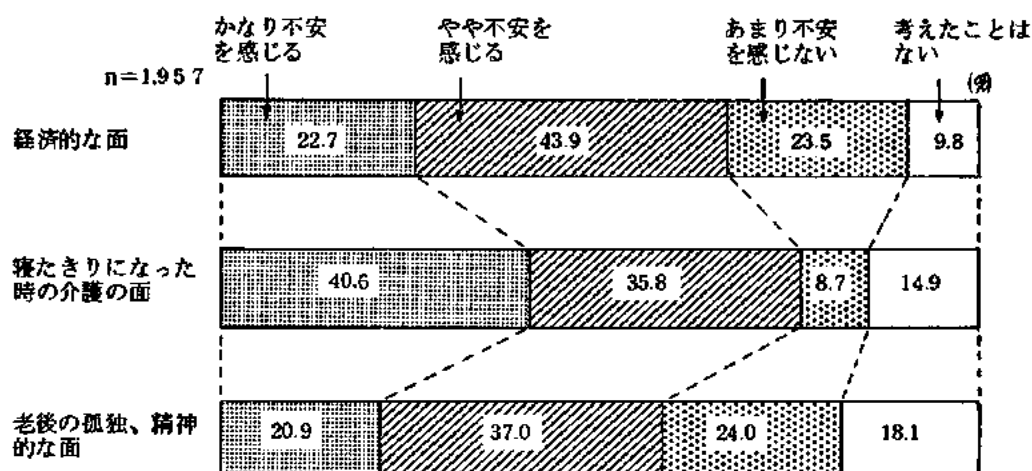
いずれの面においても「かなり不安を感じる」と「やや不安を感じる」を合わせた「不安派」は、6～8割近くあり、老後生活への不安感はかなり高いといえよう。特に、「寝たきりになった時の介護の面」での不安感が高く、4割の者が「かなり不安を感じる」と答えており、「やや不安を感じる」と合わせると8割近くが不安を感じている。(図7-1)

これを妻の年齢別にみると、いずれの項目でもおおよそ年代が低いほど「考えたことはない」者が多く、年代が上がるにつれて、介護面、精神面で

の不安感が増している。しかし、経済面については、50代以上の層で不安感
は減っている。

また、子供の有無別にみると、いずれの項目でも「子供はいない」者に不
安感が高い。特に、介護面と精神面で不安感が顕著である。

図 7 - 1 自分の老後生活に対する不安



(2) 老後における子供との同居希望状況

調査対象者中、子供のいる者は96%であったが、これらの者に対して、自分の老後は子供や孫と一緒に暮らしたいかどうかを「夫婦そろっている時」、「夫婦どちらかの身体が弱った時」、「自分1人になった時」のそれぞれの場合について聞いてみた。

まず、「夫婦そろっている時」には、「子供夫婦と同居したい」とする者は4分の1にすぎず、「自分たち夫婦だけで暮らしたい」者が6割弱、「同居、別居どちらでもよい」者は2割弱となっている。しかし、「夫婦どちらかの身体が弱った時」には、子供との同居を希望する者が4割に増え、さらに、「自分1人になった時」には同居希望が5割となる。また、自分1人になった時には「老人ホーム、病院等施設に入所したい」とする者も1割に満たないものの、他の場合に比べて最も多くなっている。

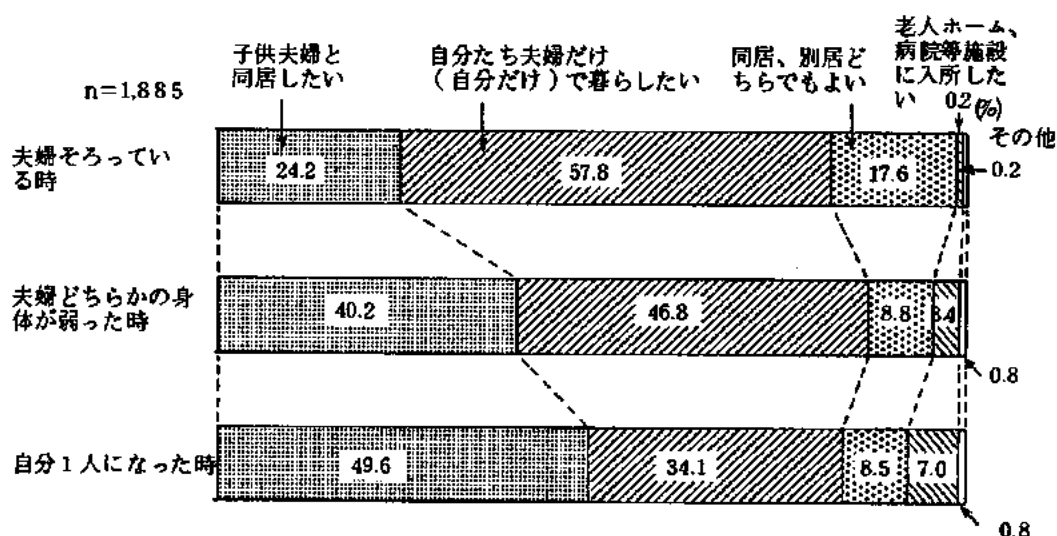
次に、「自分たち夫婦だけ(自分だけ)で暮らしたい」とする者について、

子供の住居との距離の希望をみると、「夫婦そろっている時」は近居が1番多いが、「夫婦どちらかの身体が弱った時」や「自分1人になった時」は隣居が1番多くなっている。老後における子供との同・別居関係については、夫婦の健康状態や配偶者が健在かどうかによってわかれてくる。(図7-2)

妻の年齢別にみると、いずれの場合においても年齢が低いほど「夫婦だけで暮らしたい」者の割合が高く、年齢が上がるにつれて子供との同居を希望する者が増える。また、年齢の低い世代ほど新しい親子の居住形態として注目されている「隣居」を支持する者が多い。

老親との同・別居状況別にみると、現に親と同居している場合には、自分の子供とも同居を望む者が他に比べて多い。しかし、同居希望の多い「自分1人になった時」の場合も親と隣居している者では一貫して隣居希望が最も多く、「隣居」という親子の居住形態について肯定的な様子がうかがわれる。

図7-2 老後における子供との同居希望状況



IV 付 属 統 計 表

1-1 年 齢 構 成

区 分	妻		夫	
	1,957 (人)	100.0 (%)	1,957 (人)	100.0 (%)
計				
40 歳 未 満	581	29.7	—	—
40 ～ 49 歳	1,074	54.9	1,362	69.6
50 ～ 59 歳	283	14.5	557	28.5
60 歳 以 上	19	1.0	38	1.9

1-2 きょうだい構成

(妻のきょうだい構成)

計	1,957 (人)	100.0 (%)
兄弟姉妹なし(1人っ子)	94	4.8
本人長女、兄弟なし	125	6.4
本人次女以下、兄弟なし	177	9.0
兄弟あり	1,561	79.8
本人を含む平均きょうだい数	4.3 人	

夫のきょうだい構成

計	1,957 (人)	100.0 (%)
兄弟姉妹なし(1人っ子)	133	6.8
本人長男、弟なし	367	18.8
本人長男、弟あり	719	36.7
本人次男以下	738	37.7
本人を含む平均きょうだい数	4.2 人	

1-3 子供の状況

計	1,957 (人)	100.0 (%)
子供あり	1,885	96.3 (100.0)
男の子のみ	483	24.7 (25.6)
女の子のみ	431	22.0 (22.9)
男女ともあり	971	49.6 (51.5)
子供はいない	72	3.7
子供ありの平均子供数	2.2 人	

1-4 居住状況

① 居住地域

計	1,957 (人)	100.0 (%)
大都市（東京都23区と指定都市）	189	9.7
中都市（人口10万人以上の市）	690	35.3
その他の都市	410	21.0
町 村	668	34.1

② 住宅の状況

計	1,957 (人)	100.0 (%)
持家一戸建	1,725	88.1
持家共同（アパート、マンション等）	37	1.9
借 家	128	6.5
社 宅	65	3.3
そ の 他	2	0.1

1-5 妻の就業状況

計	1,957 (人)	100.0 (%)
仕事についていない	541	27.6
仕事についている	1,416	72.4 (100.0)
○ 勤めている	1,132	57.8 (79.9)
正規従業員	749	38.3 (52.9)
パートタイマー	383	19.6 (27.0)
○ その他の就業者	284	14.5 (20.1)
自営業主	92	4.7 (6.5)
家族従業者	61	3.1 (4.3)
内 職	104	5.3 (7.3)
そ の 他	27	1.4 (1.9)

1-6 夫の職業の状況

① 夫の勤務先の事業所の産業

計	1957(人)	100.0(%)
鉱業	8	0.4
建設業	94	4.8
製造業	898	45.9
電気・ガス・水道・熱供給業	12	0.6
運輸・通信業	98	5.0
卸売業、小売業	403	20.6
金融・保険業	183	9.4
サービス業	261	13.3

③ 夫の職種

計	1957(人)	100.0(%)
管理職	625	31.9
管理職以外	1,332	68.1
事務職	366	18.7
労務職	373	19.1
営業職、販売職	260	13.3
技術職、研究職	293	15.0
その他	40	2.0

② 夫の勤務先の事業所の規模

計	1957(人)	100.0(%)
500人以上	789	40.3
100~499人	878	44.9
30~99人	197	10.0
30人未満	93	4.8

④ 夫の年収(税込み)

計	1957(人)	100.0(%)
300万円未満	265	13.5
300~500万円未満	805	41.1
500~750万円未満	612	31.3
750~1,000万円未満	163	8.3
1,000万円以上	64	3.3
分からない	48	2.5

2-1 老親の状況

(例)								
	計	存 命 の 親					死 亡	不 明
		小 計	60 歳 未 満	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以 上		
計	[100.0](3,914)	[59.7]	1.3	22.1	53.8	22.8	[40.2]	[0.1]
夫の親 父親	[100.0](1,957)	[40.3]	1.1	13.8	55.1	29.9	[59.6]	[0.1]
母親	[100.0](1,957)	[79.1]	1.4	26.4	53.2	19.1	[20.8]	[0.1]
計	[100.0](3,914)	[58.9]	5.9	34.9	46.4	12.7	[41.1]	[0.1]
妻の親 父親	[100.0](1,957)	[43.1]	3.9	28.5	52.2	15.4	[56.9]	[0.1]
母親	[100.0](1,957)	[74.7]	7.1	38.7	43.1	11.1	[25.2]	[0.1]

注 ()内は人数である。以下同じ。

2-2 存命の老親の居住状況

		子 供 夫 婦 と 同 居						親 夫 婦 だ け	親 が 一 人 で	老人ホーム、病院 等施設に 長期入所	(男) そ の 他
計		小 計	自分たち 夫 婦 と	妻又は夫 の兄弟と	妻又は夫 の姉妹と						
男	夫の父親 計	100.0(788)	71.8	51.9	17.0	2.9	22.1	2.4	2.9	0.8	
	60歳未満	100.0(9)	66.7	66.7	—	—	33.3	—	—	—	
	60～69歳	100.0(109)	67.9	57.8	10.1	—	29.4	1.8	0.9	—	
	70～79歳	100.0(434)	71.7	52.8	15.4	3.5	23.5	2.1	2.1	0.7	
	80歳以上	100.0(236)	74.2	47.0	23.7	3.4	15.7	3.4	5.5	1.3	
親	妻の父親 計	100.0(843)	61.4	11.5	41.6	8.3	31.9	2.4	2.5	1.8	
	60歳未満	100.0(33)	54.5	15.2	30.3	9.1	39.4	3.0	—	3.0	
	60～69歳	100.0(240)	57.9	12.1	33.3	12.5	37.5	1.7	0.8	2.1	
	70～79歳	100.0(440)	61.6	11.6	44.3	5.5	31.4	2.0	3.0	2.0	
	80歳以上	100.0(130)	69.2	8.5	50.8	10.0	21.5	4.6	4.6	—	
女	夫の母親 計	100.0(1,548)	77.1	52.5	20.3	4.4	11.1	8.7	2.5	0.6	
	60歳未満	100.0(21)	71.4	66.7	4.8	—	23.8	4.8	—	—	
	60～69歳	100.0(408)	71.8	54.9	14.5	2.5	18.1	8.8	0.5	0.7	
	70～79歳	100.0(323)	77.3	53.0	19.7	4.6	10.3	9.6	2.4	0.4	
	80歳以上	100.0(296)	84.5	46.6	31.1	6.8	2.7	6.4	5.4	1.0	
親	妻の母親 計	100.0(1,461)	67.8	14.2	44.8	8.8	18.2	9.7	2.7	1.6	
	60歳未満	100.0(104)	56.7	10.6	39.4	8.7	33.7	3.8	—	3.8	
	60～69歳	100.0(565)	63.2	13.8	40.7	8.7	25.0	8.5	1.6	1.8	
	70～79歳	100.0(630)	70.8	15.2	47.1	8.4	13.0	12.1	2.9	1.3	
	80歳以上	100.0(162)	78.4	14.2	53.1	11.1	4.9	8.6	7.4	0.6	

2-3 ① 夫の親との同・別居状況

(男)					
	計	同居	隣居	近居	遠居
〔総 数〕	100.0 (1,695)	52.6	3.8	22.8	20.8
夫のきょうだい構成					
1人っ子	100.0 (111)	73.0	4.5	6.3	16.2
長男・弟なし	100.0 (335)	67.8	3.6	14.6	14.0
長男・弟あり	100.0 (672)	65.8	4.2	15.3	14.7
次男以下	100.0 (577)	24.4	3.5	39.5	32.6
再掲 長男・計	100.0 (1,118)	67.1	4.0	14.2	14.7

妻の親との同・別居状況

(%)

	計	同居	隣居	近居	遠居	不明
〔総数〕	100.0 (1,568)	14.7	1.6	50.6	32.9	0.2
妻のきょうだい構成						
1人っ子	100.0 (87)	69.0	2.3	25.3	3.4	—
長女・兄弟なし	100.0 (120)	45.0	2.5	27.5	24.2	0.8
次女以下・兄弟なし	100.0 (149)	20.8	2.0	46.3	30.9	—
兄弟あり	100.0 (1,212)	7.1	1.4	55.2	36.1	0.2

② 老親との同・別居状況

(%)

	計注1)	同居	隣居	近居	遠居
〔総数〕	100.0 (1,957)	56.8	4.1	24.3	14.8
夫の年齢					
40～49歳	100.0 (1,362)	57.0	4.3	23.5	15.2
50～59歳	100.0 (557)	56.4	3.9	26.0	13.6
60歳以上	100.0 (38)	55.3	—	26.3	18.4
夫の役職					
管理職	100.0 (625)	51.4	3.4	25.9	19.4
管理職以外注2)	100.0 (1,332)	59.3	4.5	23.5	12.7
居住地域					
大都市	100.0 (189)	43.9	4.2	27.5	24.3
中都市	100.0 (690)	49.1	4.2	27.4	19.3
その他の都市	100.0 (410)	53.9	3.4	26.6	16.1
町村	100.0 (668)	70.1	4.5	18.7	6.7
住宅の状況					
持家	100.0 (1,762)	61.2	4.2	22.5	12.1
借家・社宅	100.0 (195)	16.9	3.6	40.0	39.5
妻の就業状況					
※仕事についていない	100.0 (541)	47.7	3.7	26.4	22.2
※仕事についている	100.0 (1,416)	60.2	4.3	23.4	12.0
・勤めている計	100.0 (1,132)	59.9	4.4	23.7	12.0
正規従業員	100.0 (749)	67.6	3.7	19.8	8.9
パートタイマー	100.0 (383)	44.9	5.7	31.3	18.0
・その他の就業者計	100.0 (284)	61.6	3.9	22.5	12.0
自営業主	100.0 (92)	58.7	2.2	20.7	18.5
家族従業者	100.0 (61)	82.0	6.6	11.5	—
内職	100.0 (104)	51.9	4.8	29.8	13.5
その他	100.0 (27)	63.0	—	25.9	11.1

注 1) 夫の父母、妻の父母のうち、対象者夫婦と最も近くに住む者のみを計上した。

2) 「管理職以外」とは事務職、労務職、営業職・販売職、技術職・研究職、その他の全ての職種を合計したものをいう。

2-4 ① 同居、隣居を始めた時期

(例)

	計	一貫型	中途型1	中途型2	中途型3	その他
同居計	100.0(1111)	75.5	8.8	7.9	4.3	3.4
夫の親	100.0(891)	77.4	8.4	7.6	3.1	3.4
妻の親	100.0(231)	66.7	10.4	10.8	8.7	3.5
隣居計	100.0(81)	50.6	22.2	6.2	2.5	18.5
夫の親	100.0(65)	49.2	21.5	7.7	4.6	16.9
妻の親	100.0(25)	44.0	24.0	—	4.0	28.0

- (注) 1) 「一貫型」とは、結婚前から又は結婚した時から同居又は隣居をしている者をいう。
 2) 「中途型1」とは、子供が生まれてから、同居又は隣居した者をいう。
 3) 「中途型2」とは、親が老齢、病気がちになってから同居又は隣居した者をいう。
 4) 「中途型3」とは、親が1人になってから同居又は隣居した者をいう。

② 同・隣居を始めた時期

(例)

	計	一貫型	中途型1	中途型2	中途型3	その他
※〔総数〕※	100.0(1192)	73.8	9.7	7.8	4.2	4.4
夫の年齢						
40～49歳	100.0(835)	73.3	11.4	7.3	3.4	4.7
50～59歳	100.0(336)	75.0	5.7	8.9	6.3	4.2
60歳以上	100.0(21)	76.2	9.5	9.5	4.8	—
夫の役職						
管理職	100.0(342)	66.4	9.9	11.7	5.6	6.4
管理職以外	100.0(850)	76.8	9.6	6.2	3.6	3.6
居住地域						
大都市	100.0(91)	58.2	16.5	7.7	8.8	8.8
中都市	100.0(368)	65.8	13.0	10.1	5.2	6.0
その他の都市	100.0(235)	76.6	6.8	6.4	6.4	3.8
町村	100.0(498)	81.3	7.4	6.8	1.6	2.8
住宅の状況						
持家	100.0(1152)	74.5	9.6	7.6	4.2	4.1
借家・社宅	100.0(40)	55.0	12.5	12.5	5.0	15.0
夫の年収						
300万円未満	100.0(169)	83.4	3.6	7.1	3.0	3.0
300～500万円未満	100.0(526)	77.2	9.9	5.7	3.8	3.4
500～750万円未満	100.0(347)	66.9	11.8	10.7	4.3	6.3
750万円以上	100.0(119)	63.9	13.4	10.1	7.6	5.0
不明・わからない	100.0(31)	80.6	3.2	6.5	3.2	6.5
妻の就業状況						
※仕事についていない	100.0(278)	65.8	11.2	11.5	5.4	6.1
※仕事についている	100.0(914)	76.3	9.3	6.7	3.8	3.9
・勤めている計	100.0(728)	76.5	9.5	5.9	3.6	4.5
正規従業員	100.0(534)	81.6	8.1	4.5	2.6	3.2
パートタイマー	100.0(194)	62.4	13.4	9.8	6.2	8.2
・その他の就業者計	100.0(186)	75.3	8.6	9.7	4.8	1.6
自営業主	100.0(56)	78.6	5.4	8.9	7.1	—
家族従業員	100.0(54)	83.3	9.3	5.6	1.9	—
内職	100.0(59)	64.4	11.9	16.9	3.4	3.4
その他	100.0(17)	76.5	5.9	—	11.8	5.9

2-4 夫の親との遠居の理由

(M・A・)例

	計	他のきょうだいと同居している又は同居する予定	家が狭いので同居は困難	夫の勤務地が離れているが親が同居のための移転を望まない	転勤が多いので同居は困難	今のところ必要がない	その他
(総数)	100.0 (360)	47.8	3.6	26.9	5.8	15.3	6.9
夫のきょうだい構成							
1人っ子	100.0 (19)	—	15.8	63.2	5.3	5.3	15.8
長男・弟なし	100.0 (47)	19.1	6.4	59.6	8.5	12.8	2.1
長男・弟あり	100.0 (101)	33.7	4.0	31.7	11.9	22.8	6.9
次男以下	100.0 (193)	66.8	1.6	13.0	2.1	13.0	7.3
夫の役職							
管理職	100.0 (142)	47.9	4.2	23.9	10.6	16.2	7.0
管理職以外	100.0 (218)	47.7	3.2	28.9	2.8	14.7	6.9
居住地域							
大都市	100.0 (60)	38.3	5.0	28.3	10.0	18.3	10.0
中都市	100.0 (151)	44.4	4.6	26.5	7.9	15.9	5.3
その他の都市	100.0 (76)	48.7	2.6	28.9	1.3	18.4	7.9
町 村	100.0 (73)	61.6	1.4	24.7	2.7	8.2	6.8

3-1 夫の会社の転勤の有無及び転勤に対する対応
(老親と同・隣居している者のみ)

例

	計	小 計	転 勤 が あ る					転 勤 は な い
			親がいる 場合、転 勤しなく てよい	親も同伴 する	親と別居 して家族 で転勤 する	単身赴任 となる	分 か ら な い	
** (総 数) **	[100.0](1,192)	[37.0]	0.5	6.3	10.0	63.3	20.0	[63.0]
同 隣 居								
いづれかの親と同居	[100.0](1,111)	[37.2]	0.5	6.3	9.4	63.7	20.1	[62.8]
いづれかの親と隣居	[100.0](81)	[34.6]	—	7.1	17.9	57.1	17.9	[65.4]
同隣居の時期								
一貫型	[100.0](880)	[33.4]	0.7	6.1	6.8	68.0	18.4	[66.6]
中途型1	[100.0](116)	[47.4]	—	3.6	18.2	56.4	21.8	[52.6]
中途型2	[100.0](93)	[46.2]	—	11.6	18.6	48.8	20.9	[53.8]
中途型3	[100.0](50)	[40.0]	—	10.0	10.0	50.0	30.0	[60.0]
その他	[100.0](53)	[54.7]	—	3.4	13.8	58.6	24.1	[45.3]
夫の年齢								
40～49歳	[100.0](835)	[40.6]	0.6	4.4	12.4	61.7	20.9	[59.4]
50～59歳	[100.0](336)	[30.1]	—	12.9	2.0	68.3	16.8	[69.9]
60歳以上	[100.0](21)	[4.8]	—	—	—	100.0	—	[95.2]
夫の役職								
管 理 職	[100.0](342)	[45.6]	—	8.3	9.6	60.9	21.2	[54.4]
管理職以外	[100.0](850)	[33.5]	0.7	5.3	10.2	64.6	19.3	[66.5]
居住地域								
大都市	[100.0](91)	[44.0]	—	7.5	12.5	57.5	22.5	[56.0]
中都市	[100.0](368)	[41.3]	—	7.9	11.8	59.9	20.4	[58.7]
その他の都市	[100.0](235)	[32.8]	—	6.5	13.0	62.3	18.2	[67.2]
町 村	[100.0](498)	[34.5]	1.2	4.7	6.4	68.0	19.8	[65.5]
住宅の状況								
持 家	[100.0](1,152)	[37.1]	0.5	5.2	10.3	64.2	19.9	[62.9]
借家・社宅	[100.0](40)	[35.0]	—	42.9	—	35.7	21.4	[65.0]
妻の就業状況								
※仕事についていない	[100.0](278)	[38.5]	—	12.1	15.0	53.3	19.6	[61.5]
※仕事についている	[100.0](914)	[36.5]	0.6	4.5	8.4	66.5	20.1	[63.5]
・勤めている計	[100.0](728)	[37.6]	0.7	5.1	8.0	68.2	17.9	[62.4]
正従業員	[100.0](534)	[38.8]	1.0	4.3	6.3	72.9	15.4	[61.2]
パートタイマー	[100.0](194)	[34.7]	—	7.5	13.4	53.7	25.4	[65.5]
・その他の就業者計	[100.0](186)	[32.3]	—	1.7	10.0	58.3	30.0	[67.7]
自 営 業 主	[100.0](56)	[25.0]	—	—	14.3	71.4	14.2	[75.0]
家族従業者	[100.0](54)	[20.4]	—	—	9.3	72.7	18.2	[79.6]
内 職	[100.0](59)	[49.2]	—	3.4	6.9	48.3	41.3	[50.8]
そ の 他	[100.0](17)	[35.3]	—	—	16.7	50.0	33.3	[64.7]

3-2 同・隣居と妻の就業との関係

(例)

	計	共働きを している ので、親 との同・ 隣居を希 望した	親が家庭 内のこと をやっ てくれる ので、勤 めに出 ようと思 った	同・隣居 している 親の家事 を手伝っ ている	同・隣居 の親の世 話、介護 のため外 に出られ ず、内職 をしている	同・隣居 のための 経済的必 要から働 いている	そ の 他	特に関係 はない
※〔総 数〕※	100.0(914)	8.9	23.1	7.0	3.4	22.2	0.9	34.6
いずれかの親と同居								
仕事についている計	100.0(853)	8.8	24.5	7.2	3.3	22.6	0.9	32.6
・勤めている計	100.0(678)	10.5	30.4	0.4	—	25.8	1.2	31.6
正規従業員	100.0(506)	13.6	30.0	0.4	—	23.7	0.6	31.6
パートタイマー	100.0(172)	1.2	31.4	0.6	—	32.0	2.9	32.0
・その他の就業者計	100.0(175)	2.3	1.7	33.1	16.0	10.3	—	36.6
自 営 業 主	100.0(54)	1.9	3.7	33.3	1.9	14.8	—	44.4
家族従業者	100.0(50)	2.0	—	78.0	—	4.0	—	16.0
内 職	100.0(54)	—	1.9	—	50.0	14.8	—	33.3
そ の 他	100.0(17)	11.8	—	5.9	—	—	—	82.4
いずれかの親と隣居								
仕事についている計	100.0(61)	9.8	3.3	4.9	4.9	16.4	—	60.7
・勤めている計	100.0(50)	10.0	4.0	—	—	18.0	—	68.0
正規従業員	100.0(28)	14.3	7.1	—	—	17.9	—	60.7
パートタイマー	100.0(22)	4.5	—	—	—	18.2	—	77.3
・その他の就業者計	100.0(11)	9.1	—	27.3	27.3	9.1	—	27.3
自 営 業 主	100.0(2)	50.0	—	—	—	50.0	—	—
家族従業者	100.0(4)	—	—	75.0	—	—	—	25.0
内 職	100.0(5)	—	—	—	60.0	—	—	40.0
妻の年齢								
40歳未満	100.0(264)	8.3	26.1	6.1	2.3	25.0	0.4	31.8
40～49歳	100.0(515)	8.9	22.5	7.0	3.3	21.2	1.2	35.9
50歳以上	100.0(135)	9.6	19.3	8.9	5.9	20.7	0.7	34.8
同隣居の時期								
一 貫 型	100.0(697)	8.3	26.3	7.7	2.2	22.1	0.7	32.7
中途型1	100.0(85)	16.5	16.5	5.9	4.7	22.4	1.2	32.9
中途型2	100.0(61)	6.6	8.2	4.9	14.8	26.2	1.6	37.7
中途型3	100.0(35)	5.7	8.6	5.7	5.7	17.1	—	57.1
そ の 他	100.0(36)	8.3	16.7	—	2.8	22.2	2.8	47.2
夫の年収								
300万円未満	100.0(141)	9.2	25.5	7.8	5.0	23.4	—	29.1
300～500万円未満	100.0(442)	7.9	23.3	7.0	2.7	25.1	0.9	33.0
500～750万円未満	100.0(251)	11.2	21.1	6.8	4.0	19.5	1.2	36.3
750万円以上	100.0(57)	8.8	19.3	7.0	3.5	12.3	1.8	47.4
不明・わからない	100.0(23)	—	34.8	4.3	—	13.0	—	47.8

4-1 老親の生活費の負担状況

(夫の親)		領										
	計	負担している					負担していない					不明
		小計	生活費の大部分	生活費の一部	こづかい程度	不明	小計	親自身の収入で生活費をまかなえる	他のきょうだいが負担している	その他	不明	
※【総数】※	【100.0】(1,695)	【59.3】	54.6	26.5	18.8	0.1	【40.6】	64.9	33.2	1.5	0.4	【0.1】
夫の親との関・別居												
同居	【100.0】(891)	【87.1】	67.0	26.2	6.7	0.1	【12.9】	97.4	0.9	0.9	0.9	【-】
別居	【100.0】(804)	【28.5】	12.7	27.5	59.6	-	【71.4】	58.4	39.7	1.6	0.3	【0.1】
夫のきょうだい構成												
1人っ子	【100.0】(111)	【73.0】	59.3	27.2	13.6	-	【27.0】	100.0	-	-	-	【-】
長男・弟なし	【100.0】(335)	【72.2】	55.8	29.8	14.0	0.4	【27.8】	89.2	8.6	-	2.2	【-】
長男・弟あり	【100.0】(672)	【70.2】	60.2	25.6	14.2	-	【29.8】	84.5	14.0	1.5	-	【-】
次男以下	【100.0】(577)	【36.4】	39.0	24.3	36.7	-	【63.4】	45.1	52.7	1.9	0.3	【0.2】
夫の年齢												
40～49歳	【100.0】(1,226)	【56.1】	52.6	28.1	19.3	-	【43.8】	66.5	31.5	1.5	0.6	【0.1】
50～59歳	【100.0】(448)	【67.0】	59.0	23.7	17.3	-	【33.0】	58.6	39.9	1.4	-	【-】
60歳以上	【100.0】(21)	【81.0】	58.6	11.8	23.5	5.9	【19.0】	75.0	25.0	-	-	【-】

(妻の親)		領										
	計	負担している					負担していない					不明
		小計	生活費の大部分	生活費の一部	こづかい程度	不明	小計	親自身の収入で生活費をまかなえる	他のきょうだいが負担している	その他	不明	
※【総数】※	【100.0】(1,568)	【19.8】	35.5	25.5	39.0	【80.2】	53.3	45.3	0.9	0.6		
妻の親との関・別居												
同居	【100.0】(231)	【79.7】	59.2	26.8	12.0	【20.3】	87.2	8.5	4.3	-		
別居	【100.0】(1,337)	【9.4】	0.8	20.6	76.6	【90.6】	51.9	46.7	0.7	0.6		
妻のきょうだい構成												
1人っ子	【100.0】(87)	【63.2】	50.9	28.1	20.0	【36.8】	96.9	-	3.1	-		
長女・兄弟なし	【100.0】(120)	【46.7】	48.2	26.8	25.0	【53.3】	89.1	9.4	1.6	-		
次女以下・兄弟なし	【100.0】(149)	【29.5】	27.3	31.8	40.9	【70.5】	57.1	41.9	1.0	-		
兄弟あり	【100.0】(1,212)	【12.0】	27.7	21.9	50.3	【87.2】	49.4	49.2	0.8	0.7		
妻の年齢												
40歳未満	【100.0】(521)	【15.2】	22.8	36.7	40.5	【84.8】	62.0	36.4	0.7	0.9		
40～49歳	【100.0】(863)	【19.7】	38.6	24.1	37.1	【80.3】	49.1	49.6	0.9	0.4		
50歳以上	【100.0】(184)	【33.2】	42.6	14.8	42.6	【66.8】	45.5	52.6	1.6	-		

4-2 将来の老親の生活費の負担増に対する心配

(夫の親)

(例)

	計	心配なく まかなえ と思う	やや心配	かなり 心配	分から ない	親の生活 費を負担 したり、 これ以上 増やすつ もりはな い
〔総 数〕	100.0 (1,695)	30.7	29.2	20.7	14.2	5.2
夫のきょうだい構成						
1人っ子	100.0 (111)	41.4	28.8	18.0	7.2	4.5
長男・弟なし	100.0 (335)	35.8	28.7	20.3	12.8	2.4
長男・弟あり	100.0 (672)	31.1	31.4	21.0	12.1	4.5
次男以下	100.0 (577)	25.1	27.0	21.1	18.9	7.8
夫の年齢						
40～49歳	100.0 (1,226)	28.5	30.3	20.6	14.8	5.6
50～59歳	100.0 (448)	35.0	26.8	21.4	12.5	4.2
60歳以上	100.0 (21)	61.9	14.3	9.5	14.3	—
夫の親との同・別居						
同 居	100.0 (891)	40.9	31.2	15.3	9.9	2.8
別 居	100.0 (804)	19.4	27.0	26.7	19.0	7.8

(妻の親)

(例)

	計	心配なく まかなえ と思う	やや心配	かなり 心配	分から ない	親の生活 費を負担 したり、 これ以上 増やすつ もりはな い
〔総 数〕	100.0 (1,568)	18.3	23.0	19.8	29.1	9.8
妻のきょうだい構成						
1人っ子	100.0 (87)	28.7	36.8	19.5	11.5	3.4
長女・兄弟なし	100.0 (120)	24.2	25.0	24.2	19.2	7.5
次女以下・兄弟なし	100.0 (149)	24.2	24.2	18.1	21.5	12.1
兄弟あり	100.0 (1,212)	16.3	21.7	19.6	32.3	10.1
妻の年齢						
40歳未満	100.0 (521)	13.6	26.7	19.4	32.2	8.1
40～49歳	100.0 (863)	18.8	21.8	19.9	29.0	10.5
50歳以上	100.0 (184)	29.3	18.5	20.7	20.7	10.9
妻の親との同・別居						
同 居	100.0 (231)	33.8	35.9	15.6	9.5	5.2
別 居	100.0 (1,337)	15.6	20.8	20.6	32.5	10.5

5-1 老親の世話や介護の状況

① 世話や介護の必要状況

(例)

		計	世 話 や 介 護 必 要				世話介護 不 要
			小 計	寝たきり	弱 い ・ 病気がち	そ の 他	
(夫 の 親)							
夫の年齢計	親の計	[100.0](2,336)	[18.5]	21.3	60.0	18.8	[81.5]
	父 親	[100.0](788)	[20.1]	24.7	55.7	19.6	[79.9]
	母 親	[100.0](1,548)	[17.7]	19.3	62.4	18.2	[82.3]
40～49歳	親の計	[100.0](1,757)	[16.4]	19.8	59.7	20.5	[83.6]
	父 親	[100.0](624)	[18.4]	20.9	56.5	22.6	[81.6]
	母 親	[100.0](1,133)	[15.3]	19.1	61.8	19.1	[84.7]
50～59歳	親の計	[100.0](556)	[23.9]	24.8	60.9	14.3	[76.1]
	父 親	[100.0](161)	[26.7]	34.9	53.5	11.6	[73.3]
	母 親	[100.0](395)	[22.8]	20.0	64.4	15.6	[77.2]
60歳以上	親の計	[100.0](23)	[47.8]	18.2	54.5	27.3	[52.2]
	父 親	[100.0](3)	[-]	-	-	-	[100.0]
	母 親	[100.0](20)	[55.0]	18.2	54.5	27.3	[45.0]
(妻 の 親)							
夫の年齢計	親の計	[100.0](2,304)	[11.7]	22.7	56.9	20.4	[88.3]
	父 親	[100.0](843)	[12.2]	28.2	56.3	15.5	[87.8]
	母 親	[100.0](1,461)	[11.4]	19.3	57.2	23.5	[88.6]
40～49歳	親の計	[100.0](1,765)	[9.7]	17.5	60.2	22.2	[90.3]
	父 親	[100.0](673)	[10.3]	27.5	59.4	13.0	[89.7]
	母 親	[100.0](1,092)	[9.3]	10.8	60.8	28.4	[90.7]
50～59歳	親の計	[100.0](509)	[17.7]	31.1	51.1	17.8	[82.3]
	父 親	[100.0](158)	[19.6]	29.0	51.6	19.4	[80.4]
	母 親	[100.0](351)	[16.8]	32.2	50.8	16.9	[83.2]
60歳以上	親の計	[100.0](30)	[26.7]	37.5	50.0	12.5	[73.3]
	父 親	[100.0](12)	[25.0]	33.3	33.3	33.3	[75.0]
	母 親	[100.0](18)	[27.8]	40.0	60.0	-	[72.2]

② 老親の世話や介護の担当者

(夫の父)

(M・A・)欄

	計	親の 配偶者	自 分	夫	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	家政婦、 老人ホーム、 病院等 有料の介護	ホームヘルパー など 公的サービス 利用	その他
〔総 数〕	100.0 (158)	48.1	64.6	25.9	5.7	11.4	11.4	14.6	0.6	1.3
夫のきょうだい構成										
1人っ子	100.0 (7)	42.9	71.4	28.6	—	—	—	28.6	—	—
長男・弟なし	100.0 (30)	40.0	83.3	33.3	—	—	13.3	20.0	—	3.3
長男・弟あり	100.0 (66)	54.5	72.7	28.8	1.5	9.1	13.6	10.6	1.5	—
次男以下	100.0 (55)	45.5	43.6	18.2	14.5	21.8	9.1	14.5	—	1.8

(夫の母)

(M・A・)欄

	計	親の 配偶者	自 分	夫	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	家政婦、 老人ホーム、 病院等 有料の介護	ホームヘルパー など 公的サービス 利用	その他
〔総 数〕	100.0 (274)	9.5	66.8	28.8	9.9	17.5	20.8	13.5	0.7	1.8
夫のきょうだい構成										
1人っ子	100.0 (22)	9.1	86.4	50.0	—	—	—	13.6	—	4.5
長男・弟なし	100.0 (50)	12.0	74.0	36.0	—	—	22.0	20.0	—	—
長男・弟あり	100.0 (106)	10.4	77.4	30.2	2.8	8.5	22.6	15.1	0.9	0.9
次男以下	100.0 (96)	7.3	46.9	18.8	25.0	40.6	22.9	8.3	1.0	3.1

(妻の父)

(M・A・)欄

	計	親の 配偶者	自 分	夫	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	家政婦、 老人ホーム、 病院等 有料の介護	ホームヘルパー など 公的サービス 利用	その他
〔総 数〕	100.0 (103)	48.5	35.0	3.9	9.7	28.2	9.7	22.3	—	2.9
妻のきょうだい構成										
1人っ子	100.0 (2)	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
長女・兄弟なし	100.0 (7)	71.4	71.4	—	—	—	14.3	—	—	—
次女以下・兄弟なし	100.0 (10)	30.0	40.0	10.0	—	20.0	30.0	40.0	—	—
兄弟あり	100.0 (84)	50.0	29.8	3.6	11.9	32.1	7.1	22.6	—	3.6

(妻の母)

(M・A・)欄

	計	親の 配偶者	自 分	夫	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	妻又は 夫の兄弟	家政婦、 老人ホーム、 病院等 有料の介護	ホームヘルパー など 公的サービス 利用	その他
〔総 数〕	100.0 (166)	15.1	42.8	8.4	20.5	31.9	14.5	18.7	2.4	3.0
妻のきょうだい構成										
1人っ子	100.0 (15)	—	73.3	20.0	—	—	—	13.3	13.3	6.7
長女・兄弟なし	100.0 (9)	22.2	77.8	—	—	—	22.2	33.3	—	—
次女以下・兄弟なし	100.0 (15)	13.3	53.3	20.0	—	6.7	33.3	26.7	—	—
兄弟あり	100.0 (127)	16.6	35.4	6.3	26.8	40.9	13.4	17.3	1.6	3.1

③ 老親の世話や介護の内容

(M.A.) (%)

	計	食 事 づくり	買 物	掃除・ 洗濯	通院・ 外出の 付き添い	食事の 介 助	着替え の介助	入浴の 介 助	用便等 下の世 話	その他	何もし ていな い
妻	100.0(543)	46.0	39.2	43.1	28.5	13.8	10.3	6.3	5.3	5.7	29.5
夫	100.0(543)	1.1	7.0	1.5	23.4	1.8	2.0	5.7	1.8	6.4	62.1

5-2 同・隣居の老親の世話や介護の状況

① 世話や介護の必要状況

(夫の親)

(%)

	計	世 話 や 介 護 必 要				世 話 や 介護不要
		小 計	寝たきり	弱い・ 病気がち	その他	
〔総 数〕	(1000)(956)	(249)	21.4	63.4	15.1	(75.1)
妻の就業状況						
仕事についていない	(1000)(236)	(322)	21.1	64.5	14.5	(67.8)
仕事についている	(1000)(720)	(225)	21.6	63.0	15.4	(77.5)
・勤めている計	(1000)(570)	(191)	21.1	62.4	16.5	(80.9)
正規従業員	(1000)(416)	(178)	20.3	66.2	13.5	(82.2)
パートタイマー	(1000)(154)	(227)	22.9	54.3	22.9	(77.3)
・その他の就業者計	(1000)(150)	(35.3)	22.6	64.2	13.2	(64.7)
夫のきょうだい構成						
1人っ子	(1000)(86)	(26.7)	13.0	73.9	13.0	(73.3)
長男・弟なし	(1000)(239)	(22.2)	22.5	60.4	17.0	(77.8)
長男・弟あり	(1000)(470)	(23.4)	23.5	63.6	12.7	(76.6)
次男以下	(1000)(161)	(32.3)	19.2	61.5	19.2	(67.7)

(妻の親)

(%)

	計	世 話 や 介 護 必 要				世 話 や 介護不要
		小 計	寝たきり	弱い・ 病気がち	その他	
〔総 数〕	(1000)(256)	(191)	18.4	55.1	26.5	(80.9)
妻の就業状況						
仕事についていない	(1000)(47)	(23.4)	18.2	36.4	45.5	(76.6)
仕事についている	(1000)(209)	(18.2)	18.4	60.5	21.1	(81.8)
・勤めている計	(1000)(167)	(13.2)	13.6	68.2	18.2	(86.8)
正規従業員	(1000)(125)	(10.4)	23.1	61.5	15.4	(89.6)
パートタイマー	(1000)(12)	(21.4)	—	77.8	22.2	(78.6)
・その他の就業者計	(1000)(42)	(38.1)	25.0	50.0	25.0	(61.9)
妻のきょうだい構成						
1人っ子	(1000)(62)	(17.7)	9.1	36.4	54.5	(82.3)
長女・兄弟なし	(1000)(57)	(14.0)	12.5	62.5	25.0	(86.0)
次女以下・兄弟なし	(1000)(34)	(14.7)	—	80.0	20.0	(85.3)
兄弟あり	(1000)(103)	(24.3)	28.0	56.0	16.0	(75.7)

② 老親の世話や介護の担当者

(M.A.) (歳)

		計	親の配偶者	自分	夫	妻又は夫の兄弟	妻又は夫の兄弟	妻又は夫の姉妹	家政婦、老人ホーム、病院等有料の介護	ホームヘルパーなど公的サービス利用	その他
同居	独り暮らしの親	100.0 (52)	38.5	82.7	28.8	1.9	1.9	5.8	7.7	—	—
	弱い・病気がちの親	100.0 (169)	24.3	91.1	12.4	—	0.6	1.8	1.2	—	—
同居	独り暮らしの親	100.0 (3)	—	66.7	—	—	33.3	—	33.3	—	33.3
	弱い・病気がちの親	100.0 (12)	33.3	58.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	—	—

③ 老親の世話や介護で困っていること

(M.A.) (歳)

	計	家事や育児に支障をきたす	医療費、介護費用がかかり、家計が圧迫される	身体が疲れる	精神的に疲れる	自分の時間が持てない	仕事に出られない、仕事をやめたい	仕事を続けられるか不安である	その他	特に困っていることはない
***[総数]**	100.0 (269)	4.8	12.6	26.8	50.9	25.3	10.8	19.3	1.1	23.0
介護の必要状況										
独り暮らし	100.0 (63)	9.5	28.6	41.3	68.3	47.6	12.7	20.6	3.2	7.9
弱い・病気がち	100.0 (174)	2.9	8.0	21.8	45.4	19.0	9.8	20.1	—	26.4
その他	100.0 (32)	6.3	6.3	25.0	46.9	15.6	12.5	12.5	3.1	34.4
夫の年収										
300万円未満	100.0 (28)	—	14.3	28.6	42.9	21.4	14.3	25.0	—	21.4
300～500万円未満	100.0 (129)	3.1	10.1	27.9	45.7	17.8	8.5	24.8	—	25.6
500～750万円未満	100.0 (76)	10.5	21.1	23.7	56.6	30.3	10.5	11.8	3.9	22.4
750万円以上	100.0 (31)	3.2	3.2	32.3	71.0	48.4	19.4	6.5	—	12.9
不明・わからない	100.0 (5)	—	—	—	20.0	20.0	—	40.0	—	40.0
妻の就業状況										
※ 仕事についていない	100.0 (85)	5.9	8.2	25.9	58.8	36.5	25.9	—	2.4	22.4
※ 仕事についている	100.0 (184)	4.3	14.7	27.2	47.3	20.1	3.8	28.3	0.5	23.4
・勤めている計	100.0 (123)	4.1	16.3	26.8	43.1	14.6	0.8	35.8	0.8	22.0
正社員	100.0 (81)	4.9	14.8	32.1	45.7	18.5	—	38.3	—	21.0
パートタイマー	100.0 (42)	2.4	19.0	16.7	38.1	7.1	2.4	31.0	2.4	23.8
・その他の就業有計	100.0 (61)	4.9	11.5	27.9	55.7	31.1	9.8	13.1	—	26.2
自営業主	100.0 (16)	6.3	18.8	31.3	56.3	18.8	—	18.8	—	25.0
家族従業員	100.0 (10)	10.0	—	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	—	40.0
内職	100.0 (32)	3.1	12.5	28.1	65.6	43.8	15.6	12.5	—	18.8
その他	100.0 (3)	—	—	33.3	—	—	—	—	—	66.7

※ 自分の時間とは、地域活動、趣味活動、交際、買物等の時間をいう。

④ 老親の世話や介護で望まれる家族以外の援助

(M.A.) (例)

	計	日常の家 事の援助	通院など 外出時の 付き添い	食事や着 替えの介 助	入浴の 介 助	用 便 等 下の世話	留守・外 出時の一 時的世話	そ の 他	特に手助 けや援助 は必要と しない
(総 数)	100.0 (269)	12.3	18.6	4.5	10.0	4.1	31.2	5.9	39.8
介護の必要状況									
寝たきり	100.0 (63)	15.9	17.5	7.9	22.2	6.3	41.3	12.7	20.6
弱い・病気がち	100.0 (174)	11.5	20.7	3.4	6.3	3.4	27.0	3.4	46.0
その他	100.0 (32)	9.4	9.4	3.1	6.3	3.1	34.4	6.3	43.8
妻の就業状況									
※仕事についていない	100.0 (85)	10.6	17.6	8.2	10.6	4.7	38.8	7.1	36.5
※仕事についている	100.0 (184)	13.0	19.0	2.7	9.8	3.8	27.7	5.4	41.3
・勤めている計	100.0 (123)	13.8	20.3	3.3	8.1	4.9	26.8	4.9	39.8
正規従業員	100.0 (81)	14.8	25.9	3.7	12.3	6.2	27.2	4.9	30.9
パートタイマー	100.0 (42)	11.9	9.5	2.4	—	2.4	26.2	4.8	57.1
・その他の就業者計	100.0 (61)	11.5	16.4	1.6	13.1	1.6	29.8	6.6	44.3
自営業主	100.0 (16)	18.8	25.0	6.3	18.8	6.3	25.0	—	50.0
家族従業者	100.0 (10)	10.0	10.0	—	10.0	—	20.0	10.0	50.0
内 職	100.0 (32)	6.3	15.6	—	9.4	—	34.4	9.4	40.6
そ の 他	100.0 (3)	33.3	—	—	33.3	—	33.3	—	33.3

⑤ 老親の世話や介護に対する夫の協力への満足度

(例)

	計	満 足	やや不満	不 満	協力がな くてもや むをえな い
(総 数)	100.0 (269)	37.9	30.9	4.8	26.4
介護の必要状況					
寝たきり	100.0 (63)	31.7	36.5	7.9	23.8
弱い・病気がち	100.0 (174)	39.7	28.7	4.6	27.0
その他	100.0 (32)	40.6	31.3	—	28.1
妻の年齢					
40歳未満	100.0 (58)	32.8	36.2	8.6	22.4
40～49歳	100.0 (150)	35.3	33.3	4.0	27.3
50歳以上	100.0 (61)	49.2	19.7	3.3	27.9
妻の就業状況					
※仕事についていない	100.0 (85)	35.3	31.8	5.9	27.1
※仕事についている	100.0 (184)	39.1	30.4	4.3	26.1
・勤めている計	100.0 (123)	43.9	31.7	4.1	20.3
正規従業員	100.0 (81)	42.0	33.3	4.9	19.8
パートタイマー	100.0 (42)	47.6	28.6	2.4	21.4
・その他の就業者計	100.0 (61)	29.5	27.9	4.9	37.7
自営業主	100.0 (16)	31.3	31.3	—	37.5
家族従業者	100.0 (10)	50.0	30.0	10.0	10.0
内 職	100.0 (32)	25.0	25.0	6.3	43.8
そ の 他	100.0 (3)	—	33.3	—	66.7
夫の介護状況					
参加している	100.0 (126)	23.8	27.8	6.3	42.1
参加していない	100.0 (143)	50.3	33.6	3.5	12.6

5-3 老親の世話や介護で企業に望まれる配慮

(夫の会社に望むこと)											(M・A) (%)
	計	親の看護のための年間に1週間位の有給休暇	親の看護のための長期無給休暇	労働時間の短縮	完全週休2日制	フレックスタイムの導入	パートタイムへの身分転換	転勤に関する配慮	親を看とった後の再雇用	その他	特に要望することはない
〔総数〕	100.0 (1,957)	20.8	5.3	11.8	19.9	2.9	0.2	18.5	1.8	1.0	39.2
妻の就業状況											
※仕事についていない	100.0 (541)	19.6	3.3	12.0	23.7	3.3	—	22.6	0.9	0.9	42.9
※仕事についている	100.0 (1,416)	21.3	6.0	11.7	18.4	2.7	0.2	16.9	2.1	1.0	37.9
・勤めている計	100.0 (1,132)	21.7	6.4	11.7	18.7	2.7	0.3	15.8	2.3	0.9	36.6
正従業員	100.0 (749)	21.4	7.1	11.5	19.6	2.5	0.3	13.8	2.4	1.1	37.0
パートタイマー	100.0 (383)	22.5	5.0	12.0	17.0	2.9	0.3	19.8	2.1	0.5	35.8
・その他の就業者計	100.0 (284)	19.4	4.6	11.6	17.3	2.8	—	21.5	1.4	1.4	43.0
自営業主	100.0 (92)	19.6	6.5	12.0	17.4	3.3	—	18.5	1.1	4.3	43.5
家族従業者	100.0 (61)	19.7	3.3	6.6	18.0	1.6	—	14.8	1.6	—	45.9
内職	100.0 (104)	18.3	3.8	15.4	13.5	2.9	—	27.9	—	—	42.3
その他	100.0 (27)	22.2	3.7	7.4	29.6	3.7	—	22.2	7.4	—	37.0
妻の年齢											
40歳未満	100.0 (581)	22.2	5.2	13.9	21.3	3.4	—	24.5	2.1	1.0	31.2
40～49歳	100.0 (1,074)	20.5	4.7	12.4	20.6	2.8	0.2	18.7	1.7	0.7	39.9
50歳以上	100.0 (302)	19.2	7.3	5.3	14.6	2.0	0.3	6.0	1.7	2.0	52.6

(妻の会社に望むこと)											(M・A) (%)
	計	親の看護のための年間に1週間位の有給休暇	親の看護のための長期無給休暇	労働時間の短縮	完全週休2日制	フレックスタイムの導入	パートタイムへの身分転換	転勤に関する配慮	親を看とった後の再雇用	その他	特に要望することはない
〔総数〕	100.0 (749)	18.2	31.4	14.7	15.5	3.1	6.8	3.5	17.8	1.3	18.7
介護の必要状況											
世話や介護必要計	100.0 (177)	26.0	31.8	16.9	16.9	3.4	2.8	4.5	17.5	1.7	18.6
寝たきり	100.0 (44)	36.4	36.4	22.7	18.2	4.5	—	2.3	18.2	2.3	20.5
病い・病気がち	100.0 (111)	25.2	28.8	15.3	18.0	0.9	4.5	5.4	17.1	1.8	17.1
その他	100.0 (22)	9.1	36.4	13.6	9.1	13.6	—	4.5	18.2	—	22.7
世話や介護は不要	100.0 (572)	15.7	31.3	14.0	15.0	3.0	8.0	3.1	17.8	1.2	18.7
妻の年齢											
40歳未満	100.0 (212)	16.0	35.8	13.7	15.1	5.2	7.1	3.3	20.8	1.4	15.6
40～49歳	100.0 (425)	18.1	30.1	16.5	16.0	2.4	6.8	3.8	16.5	1.4	20.2
50歳以上	100.0 (112)	22.3	27.7	9.8	14.3	1.8	6.5	2.7	17.0	0.9	18.8

5-4 寝たきりの老親の家族介護の可能性

(9)

	計	家族の介護 だけでやっ ていける	家族以外の 手助けや援 助があれば 在宅介護で やっていけ る	家族以外の 手助けや援 助があつて も在宅介護 ではやって いけない	分からない
〔総 数〕	100.0(1,957)	14.2	38.6	22.8	24.4
介護の必要状況					
世話や介護必要計	100.0(543)	14.5	38.5	28.0	19.0
寝たきり	100.0(148)	15.5	38.5	33.8	12.2
弱い・病気がち	100.0(316)	13.6	38.9	25.3	22.2
その他	100.0(77)	16.9	37.7	26.0	19.5
不 明	100.0(2)	—	—	100.0	—
世話や介護は不要	100.0(1,414)	14.0	38.7	20.9	26.4
同・別居状況					
同居の親がいる	100.0(1,111)	15.6	40.1	21.2	23.0
隣居の親がいる	100.0(81)	24.7	32.1	16.0	27.2
近居の親がいる	100.0(475)	11.8	36.6	24.0	27.6
遠居の親がいる	100.0(290)	9.7	37.9	29.0	23.4
妻の就業状況					
※仕事についていない	100.0(541)	13.1	42.9	20.0	24.0
※仕事についている	100.0(1,416)	14.5	37.0	23.9	24.5
・勤めている	100.0(1,132)	14.1	35.1	26.0	24.8
正規従業員	100.0(749)	13.1	34.7	28.4	23.8
パートタイマー	100.0(383)	16.2	35.8	21.1	26.9
・その他の就業者計	100.0(284)	16.2	44.7	15.8	23.2
自営業主	100.0(92)	15.2	39.1	23.9	21.7
家族従業者	100.0(61)	19.7	44.3	11.5	24.6
内 職	100.0(104)	14.4	51.0	11.5	23.1
そ の 他	100.0(27)	18.5	40.7	14.8	25.9
妻の年齢					
40歳未満	100.0(581)	12.6	39.2	24.4	23.8
40～49歳	100.0(1,074)	13.5	38.9	22.7	24.9
50歳以上	100.0(302)	19.5	36.4	20.2	23.8

6-1 同・隣居の老親と食事をする頻度

例

	親 と 同 居				親 と 隣 居			
	計	おおむね 一 回	ときどき 一 回	おおむね 別 *	計	おおむね 一 回	ときどき 一 回	おおむね 別 *
(総 数)	100.0 (1,111)	84.9	6.4	8.7	100.0 (81)	9.9	22.2	67.9
妻の就業状況								
※ 仕事についていない	100.0 (258)	81.0	6.6	12.4	100.0 (20)	10.0	35.0	55.0
※ 仕事についている	100.0 (853)	86.0	6.3	7.6	100.0 (61)	9.8	18.0	72.1
・ 勤めている計	100.0 (678)	86.7	5.9	7.4	100.0 (50)	12.0	18.0	70.0
正規従業員	100.0 (506)	88.1	5.5	6.3	100.0 (28)	7.1	25.0	67.9
パートタイマー	100.0 (172)	82.6	7.0	10.5	100.0 (22)	18.2	9.1	72.7
・ その他の就業者計	100.0 (175)	83.4	8.0	8.6	100.0 (11)	—	18.2	81.8
自 営 業 主	100.0 (54)	75.9	13.0	11.1	100.0 (2)	—	50.0	50.0
家族従業員	100.0 (50)	94.0	—	6.0	100.0 (4)	—	25.0	75.0
内 職	100.0 (54)	83.3	7.4	9.3	100.0 (5)	—	—	100.0
そ の 他	100.0 (17)	76.5	17.6	5.9	100.0 (—)	—	—	—

6-2 近・遠居の老親との会話の頻度

例

	親 と 近 居						親 と 遠 居					
	計	よ く 話 す	ときど き話す	ほとん ど話は しない	まった く話は しない	不 明	計	よ く 話 す	ときど き話す	ほとん ど話は しない	まった く話は しない	不 明
夫の親	100.0 (394)	31.7	56.6	10.2	1.3	0.3	100.0 (357)	11.2	66.7	17.4	4.8	—
妻の親	100.0 (794)	40.1	56.5	2.9	0.5	—	100.0 (519)	25.0	63.6	9.8	1.3	0.2

7-1 自分の老後生活に対する不安

(例)

		計	かなり不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	考えたことはない
経 済 的 な 面	**〔総数〕**	100.0 (1,957)	22.7	43.9	23.5	9.8
	妻の年齢					
	40歳未満	100.0 (581)	23.4	43.2	22.4	11.0
	40～49歳	100.0 (1,074)	23.3	45.2	22.3	9.3
	50歳以上	100.0 (302)	19.5	41.1	30.1	9.3
	子供の状況					
	子供がいる	100.0 (1,885)	22.7	43.6	23.7	10.0
	男の子のみ	100.0 (483)	23.8	42.9	23.0	10.4
	女の子のみ	100.0 (431)	21.8	43.9	25.8	8.6
	男女ともいる	100.0 (971)	22.6	43.9	23.2	10.4
	子供はいない	100.0 (72)	23.6	52.8	18.1	5.6
寝たきりになった時の介護の面	**〔総数〕**	100.0 (1,957)	40.6	35.8	8.7	14.9
	妻の年齢					
	40歳未満	100.0 (581)	36.0	34.4	10.0	19.6
	40～49歳	100.0 (1,074)	44.3	34.2	8.0	13.5
	50歳以上	100.0 (302)	36.4	44.4	8.6	10.6
	子供の状況					
	子供がいる	100.0 (1,885)	39.8	36.2	9.0	15.0
	男の子のみ	100.0 (483)	43.1	35.0	7.0	14.9
	女の子のみ	100.0 (431)	37.6	38.1	11.8	12.5
	男女ともいる	100.0 (971)	39.2	35.9	8.7	16.2
	子供はいない	100.0 (72)	61.1	26.4	1.4	11.1
老後の孤独、精神的な面	**〔総数〕**	100.0 (1,957)	20.9	37.0	24.0	18.1
	妻の年齢					
	40歳未満	100.0 (581)	18.1	37.0	24.1	20.8
	40～49歳	100.0 (1,074)	20.9	37.3	24.3	17.5
	50歳未満	100.0 (302)	26.5	35.8	22.8	14.9
	子供の状況					
	子供がいる	100.0 (1,885)	20.4	36.6	24.5	18.5
	男の子のみ	100.0 (483)	22.2	36.4	23.6	17.8
	女の子のみ	100.0 (431)	19.3	36.2	25.8	18.8
	男女ともいる	100.0 (971)	20.0	36.9	24.4	18.7
	子供はいない	100.0 (72)	34.7	47.2	11.1	6.9

7-2 老後における子供との同居希望状況

例

		計	子供夫婦 と同居し たい	自分たち夫婦だけで暮らしたい					同居・別 居どちら でもよい	老人ホーム、病院 等施設に 入所した い	そ の 他
				計	子供夫婦 と隣居し たい	子供夫婦 と近居し たい	子供夫婦 と遠居し たい	不 明			
夫婦そろっ ている時	※※〔総 数〕※※	100.0 (1,885)	24.2	57.8	(31.4)	(53.1)	(3.6)	(11.9)	17.6	0.2	0.2
	妻の年齢										
	40歳未満	100.0 (555)	22.0	58.6	(35.7)	(50.2)	(3.1)	(11.1)	18.9	0.2	0.4
	40～49歳	100.0 (1,040)	23.5	58.7	(30.3)	(53.8)	(3.8)	(12.1)	17.6	0.2	0.1
	50歳以上	100.0 (290)	31.4	53.4	(26.5)	(56.8)	(3.9)	(12.9)	14.8	—	0.3
	同・別居の状況										
	同居の親がいる	100.0 (1,078)	31.0	50.3	(34.8)	(49.6)	(3.3)	(12.2)	18.5	0.1	0.1
	隣居の親がいる	100.0 (81)	13.6	69.1	(53.6)	(30.4)	(3.6)	(12.5)	16.0	—	1.2
	近居の親がいる	100.0 (454)	17.0	66.3	(29.6)	(56.1)	(3.0)	(11.3)	16.3	—	0.4
	遠居の親がいる	100.0 (277)	13.0	69.7	(18.1)	(64.8)	(5.2)	(11.9)	16.6	0.7	—
夫婦どちら かの身体が 弱った時	※※〔総 数〕※※	100.0 (1,885)	40.2	46.8	(51.4)	(44.6)	(0.7)	(3.4)	8.8	3.4	0.8
	妻の年齢										
	40歳未満	100.0 (555)	38.9	49.9	(56.7)	(40.4)	(0.4)	(2.5)	7.4	3.1	0.7
	40～49歳	100.0 (1,040)	38.2	47.1	(50.2)	(45.5)	(0.4)	(3.9)	9.1	3.8	0.8
	50歳以上	100.0 (290)	45.9	39.7	(43.5)	(50.4)	(2.6)	(4.5)	10.0	3.1	1.4
	同・別居の状況										
	同居の親がいる	100.0 (1,073)	49.4	38.6	(52.4)	(42.3)	(1.0)	(4.3)	8.8	2.4	0.8
	隣居の親がいる	100.0 (81)	23.5	60.5	(75.5)	(22.4)	(—)	(2.0)	9.9	4.9	1.2
	近居の親がいる	100.0 (454)	28.6	56.2	(54.1)	(43.1)	(0.4)	(2.4)	9.3	4.8	1.1
	遠居の親がいる	100.0 (277)	28.2	59.2	(37.2)	(59.1)	(0.6)	(3.0)	7.6	4.7	0.4
自分1人に なった時	※※〔総 数〕※※	100.0 (1,885)	49.6	34.1	(57.9)	(37.0)	(0.9)	(4.2)	8.5	7.0	0.8
	妻の年齢										
	40歳未満	100.0 (555)	46.5	38.0	(62.1)	(31.8)	(0.9)	(5.2)	7.9	6.6	0.7
	40～49歳	100.0 (1,040)	49.5	33.4	(55.6)	(40.3)	(0.6)	(3.5)	9.3	7.2	0.6
	50歳以上	100.0 (290)	55.9	29.3	(56.5)	(36.5)	(2.4)	(4.7)	6.6	6.6	1.7
	同・別居の状況										
	同居の親がいる	100.0 (1,073)	57.6	27.5	(59.0)	(25.9)	(0.3)	(4.7)	8.8	5.6	0.6
	隣居の親がいる	100.0 (81)	33.3	53.1	(79.1)	(16.3)	(2.3)	(2.3)	7.4	4.9	1.2
	近居の親がいる	100.0 (454)	41.0	40.9	(58.5)	(37.2)	(0.5)	(3.8)	7.7	9.3	1.8
	遠居の親がいる	100.0 (277)	37.5	44.0	(46.7)	(46.7)	(2.5)	(4.1)	9.0	9.4	—

V 勤労者家庭の老親扶養に関する調査票

(秘)

総務庁承認 No 15361
 承認期限 昭和60年12月31日まで

*都道府県番号	*事業所番号	*産業分類	*事業所規模番号	*個人番号
			1 2 3 4	

*印欄は記入しないでください。

勤労者家庭の老親扶養に関する調査票 労働省婦人局

【回答上の注意】

- この調査は無記名であり、結果は統計的に処理され、ご家庭の状況が他人にも洩れりするようなことは絶対にありませんし、税金などとも全く無関係ですから、ありのままにご回答くださるようお願いいたします。
- この調査は、昭和60年11月1日現在で記入し、回答は特にことわりのない場合は、該当する番号すべてに○印をつけ、()内に必要事項を書きこんでください。また、ことわりのある場合はそれに従ってください。
- 記入が終わった調査票は、向封の返信用封筒によりお手数ですが、できるだけ早くご返送ください。
遅くとも昭和60年11月30日(土)までに届くようお願いいたします。
- この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

問1 あなたやご主人の親御さんはご存命ですか。ご存命の親御さんの年齢はおいくつですか。

	60歳未満	60～69歳	70～79歳	80歳以上	死 亡
1 夫の父	1	2	3	4	5
2 夫の母	1	2	3	4	5
3 自分の父	1	2	3	4	5
4 自分の母	1	2	3	4	5

問2 ご存命の親御さんは誰と一緒に暮らしていますか。

	自分たち夫婦 と同居してい る	自分たち夫婦 とは別居して いる	親夫婦だけで 暮らしている	親が一人で暮 らしている	自分又は夫の 男のきょうだい (夫婦)と 同居している	自分又は夫の 女のきょうだい (夫婦)と 同居している	老人ホーム、 病院等施設に 長期入所して いる	そ の 他
1 夫の父	1	2	3	4	5	6	7	8
2 夫の母	1	2	3	4	5	6	7	8
3 自分の父	1	2	3	4	5	6	7	8
4 自分の母	1	2	3	4	5	6	7	8

問3 現在、あなたと別居している親御さんは、あなたとはどれ位離れたところにお住まいですか。

	同居している	近居している	遠居している
1 夫の父	1	2	3
2 夫の母	1	2	3
3 自分の父	1	2	3
4 自分の母	1	2	3

*同居（同一マンション内、同一敷地内の別棟等）
 近居（あなたの住宅から1時間未満の所）
 遠居（あなたの住宅から1時間以上の所）

問4 (現在、親御さんと同居又は隣居している方へ)

あなたは、いつから親御さんと同居又は隣居していますか。

	結婚前から	結婚した時から	子供が生まれてから	親が老齢、病気がちになってから	親が1人になってから	その他
1 夫の親	1	2	3	4	5	6
2 自分の親	1	2	3	4	5	6

問5 (現在、親御さんと同居又は隣居している方へ)

ご主人の会社では転勤がありますか。転勤のある会社でもし、ご主人に転勤の話が出てきた場合、親御さんとの同居又は隣居を続けられますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 転勤がある 2 転勤はない
- 1 親がいる場合、転勤をしなくてもよい
- 2 転勤の時は親も同伴する
- 3 親と別居して家族で転勤する
- 4 転勤があるとすれば、夫が単身赴任となる
- 5 その他()
- 6 分からない

問6 (現在、親御さんと同居又は隣居している方で、お仕事をもっている方へ)

親御さんとの同居又は隣居は、現在、あなたが働いていることと何らかの関係がありますか。あなたの気持ちに最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 共働きをしているので、親との同居又は隣居を希望した
- 2 親が家庭内のことをやってくれるので、勤めに出ようと思った
- 3 同居又は隣居している親の家事を手伝っている
- 4 同居又は隣居の親の世話、介護のため外に出られず、内職をしている
- 5 同居又は隣居のための経済的必要から働いている
- 6 その他()
- 7 特に関係はない

問7 (現在、ご主人の親御さんと遠居しておられる方へ)

ご主人の親御さんと遠居しているのはどういう理由からですか。

- 1 他のきょうだいと同居している、将来他のきょうだいと同居する予定である
- 2 家が狭いので同居は困難である
- 3 夫の勤務地と親の居住地が離れているが、親が同居のための移転を望まない
- 4 夫の職業に転勤が多いので同居は困難である
- 5 今のところ同居や隣居の必要がない(1を除く)
- 6 その他()

問8 現在、あなた方ご夫婦は親御さんの生活費等をいくらかでも負担していますか。(同居、別居にかかわらず。)

	負 担 し て い る				負 担 し て い な い			
		生活費の大部分	生活費の一部	こづかい程度		親自身の収入で生活費をまかなえる	他のきょうだいが負担している	その他
1 夫の親	1	2	3	4	5	6	7	8
2 自分の親	1	2	3	4	5	6	7	8

問9 将来、もしも、親御さんの生活費の負担が必要となったり、あるいは現在以上に負担が増えたりした場合、あなたはその出費をまかなえると思いますか。

	心配なくまかなえると思う	やや心配である	かなり心配である	分 か ら な い	親の生活費を負担したり、これ以上増やすつもりはない
1 夫の親	1	2	3	4	5
2 自分の親	1	2	3	4	5

問10 現在、世話や介護が必要な親類さんがおられますか。(自宅介護、施設介護等にかかわらず。)

	世 話 や 介 護 が 必 要				世話や介護は 不要
		僅 た きり	弱い、病気がち	そ の 他	
1 夫の父	1	2	3	4	5
2 夫の母	1	2	3	4	5
3 自分の父	1	2	3	4	5
4 自分の母	1	2	3	4	5

〔問11から問16までは、世話や介護が必要な親類さんがおられる方のみお答えください。
それ以外の方は問16へお進みください。〕

問11 親類さんの世話や介護は誰がしていますか。(主に担当している人には○を、補助的にしている人達には△をつけてください。)

	親の配偶者	目 分	夫	自分又は夫 の男のきょう うだい	自分又は夫 の男のきょう うだいの妻	自分又は夫 の女のきょう うだい	家政婦、老 人ホーム、 病院等有料 の介護	ホームヘル パーなど公 的サービス 利用	そ の 他
1 夫の父	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 夫の母	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3 自分の父	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4 自分の母	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問12 あなたやご主人は、どんな世話や介護をしていますか。

	食事作り	買 物	掃除・洗濯	通院、外 出の付き 添い	食事の介 助	着替えの 介助	入浴の介 助	用便等下 の世話	そ の 他	何もし ていない
1 自 分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2 夫	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問13 親類さんの世話や介護をしているために何か困っている
ことがありますか。

- 1 家事や育児に支障をきたす
- 2 医療費、介護費用がかかり、家計が圧迫される
- 3 身体が疲れる
- 4 精神的に疲れる
- 5 自分の時間(地域活動、趣味活動、交際、買物等の時
間)が持たない
- 6 仕事に出られない、仕事をやめた
- 7 仕事を続けられるか不安である
- 8 その他()
- 9 特に困っていることはない

問14 親類さんの世話や介護のために家族以外のどんな手助け
や援助があればよいと思っていますか。

- 1 買物、食事の準備、洗濯、掃除等日常の家事の援助
- 2 通院など外出時の付き添い
- 3 食事や着替えの介助
- 4 入浴の介助
- 5 用便等下の世話
- 6 留守・外出時の一時的な世話
- 7 その他()
- 8 特に手助けや援助は必要としない

問15 親類さんの世話や介護に対するご主人の協力が満足していますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 満足している
- 2 やや不満
- 3 不 満
- 4 協力がなくてもやむをえない

問16 親の世話を介護をするようになった場合に、ご主人の会社に望まれる配慮はどんなことでしょうか。現在実施されている配慮も含めてお答えください。また、あなたが助めている場合、あなたの勤め先の会社についてもあわせてお答えください。

	ご主人の会社へ望むこと	あなたの会社へ望むこと
1 親の看護のための年間に1週間位の有給休暇	1	2
2 親の看護のための長期の無給休暇	1	2
3 労働時間の短縮	1	2
4 完全週休2日制	1	2
5 フレックスタイムの導入	1	2
6 パートタイマーへの身分転換	1	2
7 転勤に関する配慮	1	2
8 親を看った後の再雇用	1	2
9 その他()	1	2
10 特に要望することはない	1	2

問18 (同居又は隣居の親類さんがいる方へ)

あなたやご家族の方は、その親類さんと夕食を一緒にしていますか。

- 1 おおむね一緒
- 2 ときどき一緒
- 3 おおむね別々

問17 一般に、夜たまりの親類さんを抱えているような場合、家族の介護だけでやっていけるものだと思いますか。あなたの考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

- 1 家族の介護だけでやっていける
- 2 家族以外の手助けや援助があれば在宅介護でやっていける
- 3 家族以外の手助けや援助があっても在宅介護ではやっていけない
- 4 分からない

問19 (近居又は遠居の親類さんがいる方へ) (同居又は隣居の親類さんの他にいる場合も含みます。)

あなたやご家族の方はその親類さんと、電話などを含めてふだんどの頻度話をされますか。

	よく話す	ときどき話す	ほとんど話さない	まったく話さない
1 夫の親	1	2	3	4
2 自分の親	1	2	3	4

問20 あなたは自分の老後生活について不安を感じていますか。それぞれのことについてお答えください。

	かなり不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	考えたことはない
1 経済的な面	1	2	3	4
2 夜たまりになった時の介護の面	1	2	3	4
3 老後の孤独、精神的な面	1	2	3	4

問21 (子供のいる方へ)

あなたは、自分の老後は、子供や孫と一緒に暮らしたいと思いますか。それぞれの時についてお答えください。

	子供夫婦と同居したい	子供夫婦と近居したい(自分たち夫婦だけ)	子供夫婦と同居したい	子供夫婦と近居したい	子供夫婦と同居したい	同居、別居どちらでもよい	親類、友人、知人、隣人に入所希望	その他
1 夫婦そろっている時	1	2	3	4	5	6	7	8
2 夫婦どちらかの身体が弱った時	1	2	3	4	5	6	7	8
3 自分1人になった時	1	2	3	4	5	6	7	8

- ※同居(同一マンション内、同一敷地内の別棟等)
 近居(子供の住宅から1時間未満の所)
 遠居(子供の住宅から1時間以上の所)

問22 あなたの主人の年齢についてお答えください。

- | | |
|----------|----------|
| 1 あなたの年齢 | 2 ご主人の年齢 |
| 1 40歳未満 | 1 40～49歳 |
| 2 40～49歳 | 2 50～59歳 |
| 3 50～59歳 | 3 60歳以上 |
| 4 60歳以上 | |

問23 あなたのお子さんは何人ですか。

- 1 男の子()人
- 2 女の子()人
- 3 子供はいない

問24 あなたとご主人には、現在、きょうだいは何人いますか。
該当する番号に○をつけ、()内に人数を記入してください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 あなたのきょうだい | 2 ご主人のきょうだい |
| 1 兄弟姉妹なし | 1 兄弟姉妹なし |
| 2 兄()人 | 2 兄()人 |
| 3 弟()人 | 3 弟()人 |
| 4 姉()人 | 4 姉()人 |
| 5 妹()人 | 5 妹()人 |
| 6 本人を含めたきょうだい数 | 6 本人を含めたきょうだい数 |
| 計()人 | 計()人 |

問25 あなたの住んでいる家は次のどれですか。

- 1 持家一戸建
- 2 持家共同（アパート、マンション等）
- 3 借家一戸建
- 4 借家集合（アパート、マンション等）
- 5 社 宅
- 6 その他()

問26 あなたの住んでいる地域は次のどれですか。

- 1 11大都市（東京都23区と※指定都市）
 - 2 中都市（1を除く人口10万人以上の市）
 - 3 その他の都市
 - 4 町 村
- ※札幌、横浜、川崎、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、北九州

問27 ご主人の昨年の年収(税込み)は次のどれですか。

- 1 300万円未満
- 2 300～500万円未満
- 3 500～750万円未満
- 4 750～1,000万円未満
- 5 1,000万円以上
- 6 分からない

問28 あなたは、今、仕事についていますか。

- | | | | | | | | | | |
|-------------|---|---------|---|------------|------------|--------|---------|-------|-------|
| 1 仕事についていない | | | | | | | | | |
| 2 仕事についている | <table border="0"> <tr> <td>1 勤めている</td> <td rowspan="5"> <table border="0"> <tr> <td>1 正従業員</td> </tr> <tr> <td>2 パートタイマー等</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>2 自営業主</td> </tr> <tr> <td>3 家族従業員</td> </tr> <tr> <td>4 内 職</td> </tr> <tr> <td>5 その他</td> </tr> </table> | 1 勤めている | <table border="0"> <tr> <td>1 正従業員</td> </tr> <tr> <td>2 パートタイマー等</td> </tr> </table> | 1 正従業員 | 2 パートタイマー等 | 2 自営業主 | 3 家族従業員 | 4 内 職 | 5 その他 |
| 1 勤めている | <table border="0"> <tr> <td>1 正従業員</td> </tr> <tr> <td>2 パートタイマー等</td> </tr> </table> | 1 正従業員 | | 2 パートタイマー等 | | | | | |
| 1 正従業員 | | | | | | | | | |
| 2 パートタイマー等 | | | | | | | | | |
| 2 自営業主 | | | | | | | | | |
| 3 家族従業員 | | | | | | | | | |
| 4 内 職 | | | | | | | | | |
| 5 その他 | | | | | | | | | |

問29 ご主人の職名の番号を○で囲んでください。

- 1 事務職
- 2 労働職
- 3 営業職、販売職
- 4 技術職、研究職
- 5 管理職
- 6 その他()

ご協力誠にありがとうございました。書きおとしや書きまちがえがありますと、
 せっかくのお答えが役に立ちませんので、お手数ですがもう一度見直してください。
 昭和60年11月30日(土)までに返送してください。